

**組立・施工説明書**

**エフルージュ FIRST**  
600タイプ・1500タイプ 1台用

**エフルージュ FIRST Z**  
750タイプ

**《お願い》**

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。  
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

# はじめにお読みください



このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は「エフルージュ FIRST 600タイプ・1500タイプ 1台用／エフルージュ FIRST Z 750タイプ」の組み立て、施工について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。  
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。  
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。  
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。





## 本説明書内の表記

### 警告／注意／お願い

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

表記	意味
 <b>警告</b>	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
 <b>注意</b>	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
<b>お願い</b>	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

### その他の表記

表記	意味
 <b>改訂</b>	商品や作業の変更点
	作業するうえで必要な情報
	知っておくと便利な情報
	必ずシーリングをする箇所
	電動ドライバーの使用禁止
	電気工事士の資格が必要な作業

- 一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。

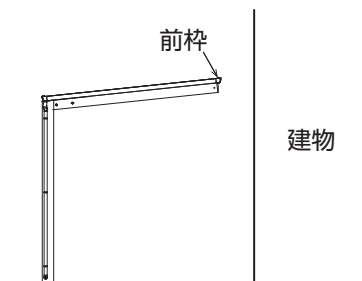
# もくじ

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
<b>作業前の確認</b>	<b>P.4</b>
同梱一覧	P.4
全体構成図	P.15
施工の流れ	P.15
<b>基礎工事の準備</b>	<b>P.16</b>
墨出し	P.16
基礎の掘削	P.16
<b>本体フレームの施工</b>	<b>P.17</b>
柱の施工	P.18
柱・梁の取り付け	P.19
<b>屋根部の施工（基礎工事前）</b>	<b>P.20</b>
前枠・後枠・母屋の加工、部品付け（柱を移動する場合）	P.20
前枠・後枠・母屋の加工（奥行切り詰めする場合）	P.20
前枠・後枠・母屋の加工（奥行延長・奥行連結する場合）	P.20
後枠の取り付け	P.20
前枠の取り付け	P.23
寸法確認・調整	P.24
母屋の取り付け	P.25
側枠・垂木の取り付け	P.27
柱・梁取付ボルトの本締め	P.27
<b>基礎工事</b>	<b>P.28</b>
柱の水抜き穴加工	P.28
柱の寸法確認	P.28
基礎コンクリートの打ち込み	P.28
<b>屋根部の施工（基礎養生後）</b>	<b>P.29</b>
屋根ふき材の取り付け	P.29
屋根ふき材押えの取り付け	P.31
「屋根ふき材の取り付け」～「屋根ふき材押えの取り付け」の繰り返し	P.33
コーナーキャップの取り付け	P.34
雨樋の施工	P.35
<b>奥行連結の施工</b>	<b>P.36</b>
前枠・後枠・母屋の加工	P.36
前枠・後枠・母屋の連結	P.37
連結垂木の取り付け	P.39
<b>M合掌の施工</b>	<b>P.40</b>
梁連結材の取り付け	P.40
合掌材の取り付け	P.41
<b>Y合掌の施工</b>	<b>P.42</b>
柱連結材の取り付け	P.42
合掌材の取り付け	P.43
<b>寸法図</b>	<b>P.44</b>
エフルージュ FIRST 600 タイプ 1 台用	P.44
エフルージュ FIRST Z 750 タイプ	P.49
エフルージュ FIRST 1500 タイプ 1 台用	P.55

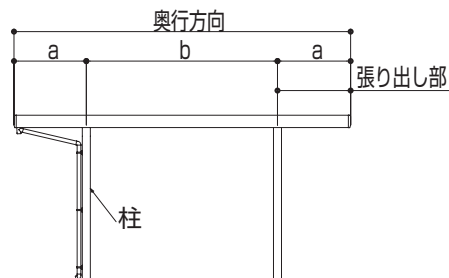
# 安全にお取り扱いいただくために

## ⚠ 注意

- 本説明書記載以外の加工、組み立て、施工など、改造を行わないでください。  
性能に影響を及ぼし、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 組み立て、施工の際は、必ず同梱のねじを使用してください。  
異なるねじを使用すると、ねじの折れ、強度低下、ゆるみなどにより、部材の落下や漏水など思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 組み立て、施工の際は、ねじをまっすぐに最後まで締め付けてください。  
締め付け不良は部材の落下や漏水など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- ボルトは、適正トルクで締め付けてください。  
締め付けが不十分な場合、強度低下や脱落により思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。締め付けトルクは以下を目安に設定してください。  
M8ボルト：13N・m(130kgf・cm)
- 商品が破損、変形およびキズがつかないように、取り扱いには十分注意してください。  
破損、変形した商品を取り付けた場合、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 本商品は前枠側を建物に向けて施工してください。  
屋根が強風であられ商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



- 切り詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を行ってください。  
奥行方向張り出し部のみ切り詰めると、カーポート屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪や暴風時に商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



- 給湯器や暖房機などの熱排気が商品内にこもるような場所に施工しないでください。  
排気による中毒や塗装劣化・ハクリのおそれがあります。
- シーリングは説明書に従って必ず行ってください。  
漏水につながるおそれがあります。
- ポリカーボネート板へのシーリングは、必ず脱アルコール形のシーリング材を使用してください  
(別途手配品)。  
ポリカーボネート板の接着不良やひび割れにより、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

## お願い

- エフルージュ FIRST 600タイプ 1台用の耐積雪性能は600N/m<sup>2</sup> (61.2 k g f /m<sup>2</sup>) (積雪量に換算すると20cm相当)、  
エフルージュ FIRST Z 750タイプの耐積雪性能は750N/m<sup>2</sup> (76.5 k g f /m<sup>2</sup>) (積雪量に換算すると25cm相当)、  
エフルージュ FIRST 1500タイプ 1台用の耐積雪性能は1500N/m<sup>2</sup> (153 k g f /m<sup>2</sup>) (積雪量に換算すると50cm相当) です。  
積雪量が20cm、25cm、または50cmを超える前に雪おろしが必要であることを施主様に説明してください。
- 商品の屋根の上にのらないでください。  
商品が破損したり、転落によりけがをしたりするおそれがあります。
- ねじに塗布されているコーティング剤が皮膚に付着した場合は、石けんでよく洗ってください。  
皮膚に直接接触することにより、かぶれが起こるおそれがあります。  
口に入ってしまった場合は、すぐに吐き出し医師の診断を受けてください。
- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取り付けしないでください。  
商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- シーラーなどの水密部品は説明書に従って組み立ててください。  
組み立て不良は漏水につながるおそれがあります。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤 (1~2%の水溶液) を使用してください。  
(アクリル・ポリカーボネート板は0.5%の水溶液)  
酸・アルカリ・塩素系の洗剤液や有機溶剤を使用すると、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 塩素系薬品 (次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など) を使用した場合、必ず清潔な布や紙で水拭きしてください。  
表面に付着したまま放置されると、変色するおそれがあります。



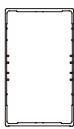
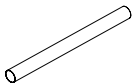
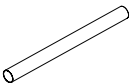
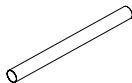



- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具 (保護帽、安全帯、目・耳・手・足の保護具) を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
- 商品の運搬、組み立て、取り付けは相応の人数で行ってください。
- 商品の保管は、必ず室内でしてください。  
やむを得ず屋外に置く場合は、湿気の無い日陰で平らな場所に平置きにして、防水シートをかけてください。
- 施工前に同梱されている部材および部品を確認してください。

# 作業前の確認

## 同梱一覧

### ■柱

姿 図							
品 名	柱	柱	柱	たて樋	たて樋	たて樋	呼び樋
品 番	<b>3K-87205</b>	<b>3K-86745</b>	<b>3K-87206</b>	<b>K-34805</b>	<b>K-34805</b>	<b>K-34805</b>	<b>K-34805</b>
JCS-AA22AXA	2	-	-	1	-	-	1
JCS-AA22CXA	-	2	-	1	-	-	1
JCS-AA22A-1TXA	1	-	-	1	-	-	1
JCS-AA22C-1TXA	-	1	-	1	-	-	1
JCS-AA25AXA	2	-	-	-	1	-	1
JCS-AA25CXA	-	2	-	-	1	-	1
JCS-AA25A-1TXA	1	-	-	-	1	-	1
JCS-AA25C-1TXA	-	1	-	-	1	-	1
JCS-AA28A-1XA	1	-	-	-	-	-	-
JCS-AA28C-1XA	-	1	-	-	-	-	-
JCS-AA28A-1TXA	1	-	-	-	-	1	1
JCS-AA28C-1TXA	-	1	-	-	-	1	1
JCS-BA22AXA	-	-	2	1	-	-	1
JCS-BA22BXA	-	-	2	1	-	-	1
JCS-BA22CXA	-	2	-	1	-	-	1
JCS-BA22A-1TXA	-	-	1	1	-	-	1
JCS-BA22B-1TXA	-	-	1	1	-	-	1
JCS-BA22C-1TXA	-	1	-	1	-	-	1
JCS-BA25AXA	-	-	2	-	1	-	1
JCS-BA25BXA	-	-	2	-	1	-	1
JCS-BA25CXA	-	2	-	-	1	-	1
JCS-BA25A-1TXA	-	-	1	-	1	-	1
JCS-BA25B-1TXA	-	-	1	1	1	-	-
JCS-BA25C-1TXA	-	1	-	-	1	-	1
JCS-BA28A-1XA	-	-	1	-	-	-	-
JCS-BA28B-1XA	-	-	1	-	-	-	-
JCS-BA28C-1XA	-	1	-	-	-	-	-
JCS-BA28A-1TXA	-	-	1	-	-	1	1
JCS-BA28B-1TXA	-	-	1	-	-	1	1
JCS-BA28C-1TXA	-	1	-	-	-	1	1
JCS-FA22-2XA	-	2	-	-	-	-	-
JCS-FA25-2XA	-	2	-	-	-	-	-
JCS-FA22-1TXA	-	1	-	1	-	-	1
JCS-FA25-1TXA	-	1	-	-	1	-	1
JCS-FA28-1	-	1	-	-	-	-	-
JCS-FA28-1T	-	1	-	-	-	1	1
備 考	-	-	-	L=2100mm	L=2450mm	L=2750mm	L=1300mm

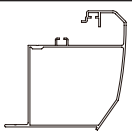
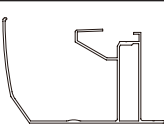



## ■梁

姿 図			
品 名	梁	梁	梁
品 番	<b>3K-87211</b>	<b>3K-86747</b>	<b>3K-87212</b>
JCS-AB##AXA	2	—	—
JCS-AB##CXA	—	2	—
JCS-AB##A-1XA	1	—	—
JCS-AB##C-1XA	—	1	—
JCS-BB##AXA	—	—	2
JCS-BB##BXA	—	—	2
JCS-BB##CXA	—	2	—
JCS-BB##A-1XA	—	—	1
JCS-BB##B-1XA	—	—	1
JCS-BB##C-1XA	—	1	—
JCS-FB##-2	—	2	—
JCS-FB##-1	—	1	—


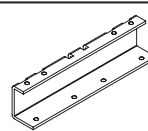
## ■側枠・垂木

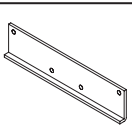

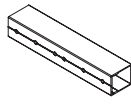
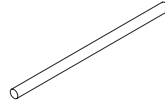


姿 図					
品 名	側枠	側枠	垂木	屋根ふき材押え	屋根ふき材押え
品 番	<b>3K-83304</b>	<b>3K-83324</b>	<b>2K-82257</b>	<b>2K-82267</b>	<b>2K-82258</b>
JCS-AC##-7XA	2	—	6	2	6
JCS-AC##-8XA	2	—	7	2	7
JCS-BC##-7XA	2	—	6	2	6
JCS-BC##-8XA	2	—	7	2	7
JCS-BC##P-7XA	—	2	6	2	6
JCS-BC##P-8XA	—	2	7	2	7
JCS-FC##-7	2	—	6	2	6
JCS-FC##-8	2	—	7	2	7
JCS-FC##P-7	—	2	6	2	6
JCS-FC##P-8	—	2	7	2	7
備 考	—	—	—	側枠用	垂木用

■前後枠・母屋

姿 図					
品 名	前枠	後枠	母屋	母屋	母屋
品 番	<b>3K-83308</b>	<b>3K-83309</b>	<b>3K-87214</b>	<b>3K-87215</b>	<b>3K-87216</b>
JCS-AD##AXA	1	1	3	—	—
JCS-AD##BXA	1	1	—	3	—
JCS-BD##AXA	1	1	—	3	—
JCS-BD##BXA	1	1	—	—	3
JCS-BD##PAXA	1	1	—	3	—
JCS-BD##PBXA	1	1	—	—	3
JCS-FD##-3XA	1	1	—	—	3
JCS-FD##-4XA	1	1	—	—	4
JCS-FD##P-3XA	1	1	—	—	3
JCS-FD##P-4XA	1	1	—	—	4



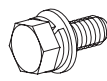

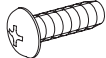

■前後枠・母屋(奥行延長)





姿 図						
品 名	前枠	後枠	母屋	母屋	前枠連結材	後枠連結材A
品 番	<b>3K-83308</b>	<b>3K-83309</b>	<b>3K-87214</b>	<b>3K-87215</b>	<b>6K-19490</b>	<b>6K-19491</b>
JCS-AD14AAXA	1	1	3	—	1	1
JCS-AD14ABXA	1	1	3	—	1	1
JCS-BD14AAXA	1	1	—	3	1	1
JCS-BD14ABXA	1	1	—	3	1	1
備 考	—	—	—	—	—	—

姿 図						
品 名	後枠連結材B	後枠連結材C	母屋連結材	柱アンカー	柱カバー	柱カバー
品 番	<b>6K-19492</b>	<b>6K-19493</b>	<b>7K-11982</b>	<b>K-11711</b>	<b>5K-17922</b>	<b>7K-11422</b>
JCS-AD14AAXA	1	1	3	1	1	—
JCS-AD14ABXA	1	1	3	1	—	1
JCS-BD14AAXA	1	1	3	1	1	—
JCS-BD14ABXA	1	1	3	1	—	1
備 考	—	—	—	L=200mm	—	—



姿 図						
品 名	雨樋セット	穴隠し	ドレイン	前枠連結カバー	後枠連結カバー	穴塞ぎシール (φ14)
品 番	<b>EA-E1</b>	<b>3K-30633</b>	<b>3K-30634</b>	<b>3K-31977</b>	<b>3K-31978</b>	<b>K-40433</b>
JCS-AD14AAXA	1	1	1	1	1	10
JCS-AD14ABXA	1	1	1	1	1	10
JCS-BD14AAXA	1	1	1	1	1	10
JCS-BD14ABXA	1	1	1	1	1	10
備 考	—	—	—	—	—	柱移動用

姿 図						
品 名	屋根ふき材 補強部品	スペーサー	座金組込六角ボルト (M8×25) (コーティング剤塗布)	トラスタッピンねじ (φ5×10) (ゴムワッシャー付き)	小トラスタッピンねじ (φ5×16)	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品 番	<b>5K-15483</b>	<b>2K-22552</b>	<b>6K-10581</b>	<b>5K-14711</b>	<b>EM-5016</b>	<b>ET-5010</b>
JCS-AD14AAXA	—	—	8	8	4	28
JCS-AD14ABXA	—	—	12	8	4	28
JCS-BD14AAXA	2	2	8	8	4	28
JCS-BD14ABXA	2	2	12	8	4	28
備 考	—	—	柱・梁取り付け用	後枠連結用	前枠連結用	前後枠・母屋 連結用

姿 図				
品 名	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品 番	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>
JCS-AD14AAXA	38	4	15	10
JCS-AD14ABXA	42	4	15	10
JCS-BD14AAXA	26	4	15	10
JCS-BD14ABXA	30	4	15	10
備 考	屋根ふき材押え 取り付け用	ドレイン・穴隠し 取り付け用	垂木・連結垂木 取り付け用	前後枠・母屋 取り付け用

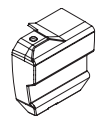
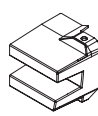
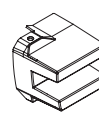

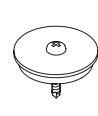
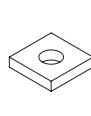
■垂木・連結垂木

姿 図				
品 名	屋根ふき材押え	屋根ふき材押え	垂木	垂木
品 番	<b>2K-82258</b>	<b>2K-82258</b>	<b>2K-82257</b>	<b>2K-82257</b>
JCS-AEJ##-2XA	1	1	1	1
JCS-AEJ##-7XA	1	6	1	6
JCS-AEJ##-8XA	1	7	1	7
JCS-BEJ##-2XA	1	1	1	1
JCS-BEJ##-7XA	1	6	1	6
JCS-BEJ##-8XA	1	7	1	7
JCS-FEJ##-7	1	6	1	6
JCS-FEJ##-8	1	7	1	7
備 考	連結用	—	連結用	—

■部品箱

姿 図						
品 名	柱アンカー	柱カバー	柱カバー	雨樋セット	穴隠し	ドレイン
品 番	<b>K-11711</b>	<b>5K-17922</b>	<b>7K-11422</b>	<b>EA-E1</b>	<b>3K-30633</b>	<b>3K-30634</b>
JCS-AG-AXA	2	2	—	1	1	1
JCS-AG-BXA	2	2	—	1	1	1
JCS-AG-CXA	2	—	2	1	1	1
JCS-BG-AXA	2	2	—	1	1	1
JCS-BG-BXA	2	2	—	1	1	1
JCS-BG-CXA	2	—	2	1	1	1
JCS-BGP-AXA	2	2	—	1	1	1
JCS-BGP-BXA	2	2	—	1	1	1
JCS-BGP-CXA	2	—	2	1	1	1
JCS-FG-AXA	3	—	3	1	1	1
JCS-FG-BXA	3	—	3	1	1	1
JCS-FGP-AXA	3	—	3	1	1	1
JCS-FGP-BXA	3	—	3	1	1	1
備 考	L=200mm	—	—	—	—	—

姿 図						
品 名	シーラー	前枠キャップベース L	前枠キャップベース R	後枠キャップベース L	後枠キャップベース R	キャップ化粧部 L
品 番	<b>2K-21263</b>	<b>3K-31973</b>	<b>3K-31974</b>	<b>3K-31975</b>	<b>3K-31976</b>	<b>3K-31979</b>
JCS-AG-AXA	—	1	1	1	1	2
JCS-AG-BXA	—	1	1	1	1	2
JCS-AG-CXA	—	1	1	1	1	2
JCS-BG-AXA	—	1	1	1	1	2
JCS-BG-BXA	—	1	1	1	1	2
JCS-BG-CXA	—	1	1	1	1	2
JCS-BGP-AXA	2	1	1	1	1	—
JCS-BGP-BXA	2	1	1	1	1	—
JCS-BGP-CXA	2	1	1	1	1	—
JCS-FG-AXA	—	1	1	1	1	2
JCS-FG-BXA	—	1	1	1	1	2
JCS-FGP-AXA	2	1	1	1	1	—
JCS-FGP-BXA	2	1	1	1	1	—
備 考	—	—	—	—	—	—

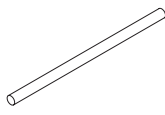


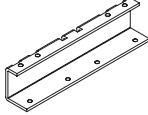
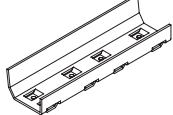
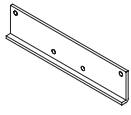
姿 図						
品 名	キャップ化粧部 R	キャップ化粧部 L	キャップ化粧部 R	穴塞ぎシール (φ14)	屋根ふき材 補強部品	スペーサー
品 番	<b>3K-31980</b>	<b>3K-31983</b>	<b>3K-31984</b>	<b>K-40433</b>	<b>5K-15483</b>	<b>2K-22552</b>
JCS-AG-AXA	2	—	—	20	—	—
JCS-AG-BXA	2	—	—	20	—	—
JCS-AG-CXA	2	—	—	20	—	—
JCS-BG-AXA	2	—	—	20	7	7
JCS-BG-BXA	2	—	—	20	8	8
JCS-BG-CXA	2	—	—	20	8	8
JCS-BGP-AXA	—	2	2	20	7	7
JCS-BGP-BXA	—	2	2	20	8	8
JCS-BGP-CXA	—	2	2	20	8	8
JCS-FG-AXA	2	—	—	30	7	7
JCS-FG-BXA	2	—	—	36	8	8
JCS-FGP-AXA	—	2	2	30	7	7
JCS-FGP-BXA	—	2	2	36	8	8
備 考	—	—	—	柱移動用	—	—

作業前の確認

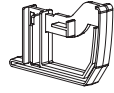



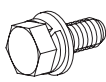

姿 図						
品 名	座金組込六角ボルト (M8×25) (コーティング剤塗布)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品 番	<b>6K-10581</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>
JCS-AG-AXA	16	152	20	4	4	40
JCS-AG-BXA	16	153	20	4	4	45
JCS-AG-CXA	24	189	20	4	4	45
JCS-BG-AXA	16	104	20	4	4	40
JCS-BG-BXA	16	108	20	4	4	45
JCS-BG-CXA	24	135	20	4	4	45
JCS-BGP-AXA	16	104	20	4	4	40
JCS-BGP-BXA	16	108	20	4	4	45
JCS-BGP-CXA	24	135	20	4	4	45
JCS-FG-AXA	36	104	30	4	4	40
JCS-FG-BXA	36	121	36	4	4	48
JCS-FGP-AXA	36	104	30	4	4	40
JCS-FGP-BXA	36	121	36	4	4	48
備 考	柱・梁 取り付け用	屋根ふき材押え 取り付け用	前後枠・母屋 取り付け用	ドレイン・穴隠し 取り付け用	前後枠キャップ 取り付け用	側枠・垂木 取り付け用

姿 図		—
品 名	トラスタッピンねじ (φ5×10)	組立・施工説明書
品 番	<b>ET-5010</b>	—
JCS-AG-AXA	2	1
JCS-AG-BXA	2	1
JCS-AG-CXA	2	1
JCS-BG-AXA	2	1
JCS-BG-BXA	2	1
JCS-BG-CXA	2	1
JCS-BGP-AXA	2	1
JCS-BGP-BXA	2	1
JCS-BGP-CXA	2	1
JCS-FG-AXA	2	1
JCS-FG-BXA	2	1
JCS-FGP-AXA	2	1
JCS-FGP-BXA	2	1
備 考	予備	—

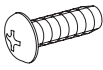





## ■部品箱(奥行連結)


姿 図						
品 名	柱アンカー	柱カバー	柱カバー	前枠連結材	後枠連結材A	後枠連結材B
品 番	<b>K-11711</b>	<b>5K-17922</b>	<b>7K-11422</b>	<b>6K-19490</b>	<b>6K-19491</b>	<b>6K-19492</b>
JCS-AGJ-AXA	2	2	—	1	1	1
JCS-AGJ-BXA	2	2	—	1	1	1
JCS-AGJ-CXA	2	—	2	1	1	1
JCS-BGJ-AXA	2	2	—	1	1	1
JCS-BGJ-BXA	2	2	—	1	1	1
JCS-BGJ-CXA	2	—	2	1	1	1
JCS-FGJ-AXA	3	—	3	1	1	1
JCS-FGJ-BXA	3	—	3	1	1	1
備 考	L=200mm	—	—	—	—	—

姿 図						
品 名	後枠連結材C	母屋連結材	雨樋セット	穴隠し	ドレイン	前枠連結カバー
品 番	<b>6K-19493</b>	<b>7K-11982</b>	<b>EA-E1</b>	<b>3K-30633</b>	<b>3K-30634</b>	<b>3K-31977</b>
JCS-AGJ-AXA	1	3	1	1	1	1
JCS-AGJ-BXA	1	3	1	1	1	1
JCS-AGJ-CXA	1	3	1	1	1	1
JCS-BGJ-AXA	1	3	1	1	1	1
JCS-BGJ-BXA	1	3	1	1	1	1
JCS-BGJ-CXA	1	3	1	1	1	1
JCS-FGJ-AXA	1	3	1	1	1	1
JCS-FGJ-BXA	1	4	1	1	1	1
備 考	—	—	—	—	—	—



姿 図						
品 名	後枠連結カバー	穴塞ぎシール (φ14)	屋根ふき材 補強部品	スペーサー	座金組込六角ボルト (M8×25) (コーティング剤塗布)	トラスタッピン ねじ(φ5×10) (ゴムワッシャー付き)
品 番	<b>3K-31978</b>	<b>K-40433</b>	<b>5K-15483</b>	<b>2K-22552</b>	<b>6K-10581</b>	<b>5K-14711</b>
JCS-AGJ-AXA	1	20	—	—	16	8
JCS-AGJ-BXA	1	20	—	—	16	8
JCS-AGJ-CXA	1	20	—	—	24	8
JCS-BGJ-AXA	1	20	7	7	16	8
JCS-BGJ-BXA	1	20	8	8	16	8
JCS-BGJ-CXA	1	20	8	8	24	8
JCS-FGJ-AXA	1	30	7	7	36	8
JCS-FGJ-BXA	1	36	8	8	36	8
備 考	—	柱移動用	—	—	柱・梁 取り付け用	後枠連結用




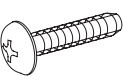
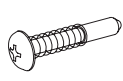
作業前の確認

姿 図						
品 名	小トラスタッピンねじ (φ5×16)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品 番	<b>EM-5016</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>
JCS-AGJ-AXA	4	133	20	40	4	28
JCS-AGJ-BXA	4	136	20	45	4	28
JCS-AGJ-CXA	4	168	20	45	4	28
JCS-BGJ-AXA	4	91	20	40	4	28
JCS-BGJ-BXA	4	96	20	45	4	28
JCS-BGJ-CXA	4	120	20	45	4	28
JCS-FGJ-AXA	4	91	30	40	4	28
JCS-FGJ-BXA	4	105	36	48	4	34
備 考	前枠連結用	屋根ふき材押え 取り付け用	前後枠・母屋 取り付け用	垂木・連結垂木 取り付け用	ドレイン・穴隠し 取り付け用	前後枠・母屋 連結用

姿 図	
品 名	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品 番	<b>ET-5010</b>
JCS-AGJ-AXA	2
JCS-AGJ-BXA	2
JCS-AGJ-CXA	2
JCS-BGJ-AXA	2
JCS-BGJ-BXA	2
JCS-BGJ-CXA	2
JCS-FGJ-AXA	2
JCS-FGJ-BXA	2
備 考	予備

## ■部品箱(M合掌)

姿 図						
品 名	梁連結材	M合掌連結材	M合掌カバー	六角ボルト (M8×75)	六角ボルト (M8×105)	六角袋ナット (M8用)
品 番	<b>3K-13929</b>	<b>6K-19495</b>	<b>6K-19496</b>	<b>SBH-M08075</b>	<b>SBH-M08105</b>	<b>FN-M08</b>
YCS-AGM-2AXA	4	4	2	8	—	8
YCS-AGM-2BXA	4	4	2	—	8	8
YCS-BGM-2AXA	4	6	2	8	—	8
YCS-BGM-2BXA	4	6	2	—	8	8
YCS-FGM-3	6	6	2	—	12	12
備 考	—	—	—	—	—	—

姿 図					
品 名	六角ナット (M8用)	ワッシャー (M8用)	シーラー	トラスタッピンねじ (φ5×25)	小トラスタッピンねじ 2種 (ガイド付) (φ4×25)
品 番	<b>N-M08</b>	<b>W-08</b>	<b>3K-25398</b>	<b>ET-5025</b>	<b>BM-4025G</b>
YCS-AGM-2AXA	8	16	4	4	4
YCS-AGM-2BXA	8	16	4	4	4
YCS-BGM-2AXA	8	16	4	6	4
YCS-BGM-2BXA	8	16	4	6	4
YCS-FGM-3	12	24	4	6	4
備 考	—	—	—	M合掌連結材 取り付け用	M合掌カバー 取り付け用

■部品箱(Y合掌)

姿 図						
品 名	Y合掌柱連結材	Y合掌柱連結材	Y合掌ブラケット	Y合掌カバー	柱連結材	シーラー
品 番	<b>6K-19501</b>	<b>7K-11976</b>	<b>6K-19498</b>	<b>6K-19499</b>	<b>4K-17905</b>	<b>3K-25398</b>
JCS-AGY-2AXA	4	—	5	2	2	4
JCS-AGY-2BXA	—	4	5	2	2	4
備 考	—	—	—	—	—	—

姿 図			
品 名	トラスタッピンねじ (φ5×25)	小トラスタッピンねじ 2種 (ガイド付) (φ4×25)	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング剤塗布)
品 番	<b>ET-5025</b>	<b>BM-4025G</b>	<b>DN-4019B-SC</b>
JCS-AGY-2AXA	10	4	4
JCS-AGY-2BXA	10	4	4
備 考	Y合掌ブラケット 取り付け用	Y合掌カバー 取り付け用	柱連結材 取り付け用

■ジョイント材

姿 図				
品 名	ジョイント材	ジョイント材	ジョイント材	ジョイント材
品 番	<b>5K-16554</b>	<b>5K-16555</b>	<b>6K-19503</b>	<b>7K-11421</b>
DCS-GA2	2	—	—	—
DCS-GA1	1	—	—	—
DCS-GC2	—	2	—	—
DCS-GC1	—	1	—	—
DCS-GD2	—	—	2	—
DCS-GD1	—	—	1	—
JCS-FG1J	—	—	—	1

■M合掌材

姿 図	
品 名	合掌材
品 番	<b>3K-83315</b>
YCS-BM##	1
YCS-FM##	1

■Y合掌材

姿 図	
品 名	合掌材
品 番	<b>3K-83316</b>
YCS-BY##	1



### ■屋根ふき材

ユニット記号	サイズ		数量
	長さ	幅	
CCS-RF24-2\$\$	2387	706 (700)	2
CCS-RF24-3\$\$			3
CCS-RF24-4\$\$			4
CCS-RF27-2\$\$	2691		2
CCS-RF27-3\$\$			3
CCS-RF27-4\$\$			4
CCS-RF30-2\$\$	2995	2	
CCS-RF30-3\$\$		3	
CCS-RF30-4\$\$		4	
CCS-RF5424-4\$\$	2387	654	4
CCS-RF5427-4\$\$	2691		4
CCS-RF5430-4\$\$	2995		4

屋根材種類	色	記号
一般ポリカ	アースブルー	2A
	スモークブラウン	2C
	トーマイマット	2F
熱線遮断ポリカ	アースブルー／マット仕上げ	3B
	クリアマット	3J
遮光ポリカ※	ブラックマット	8N
熱線遮断FRP板	アッシュグレイ	6K
アルミ樹脂複合板	アイボリーホワイト	5H

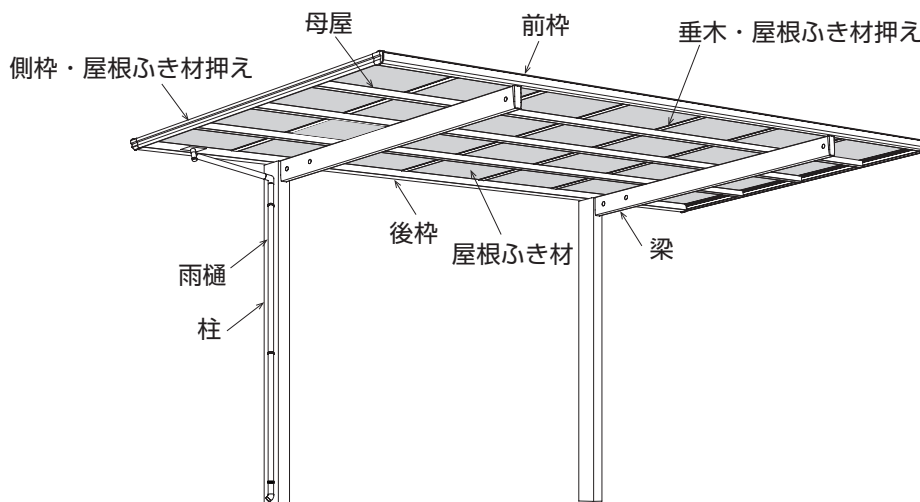
※：エフルージュ FIRST 600タイプ 1台用  
エフルージュ FIRST Z 750タイプ 1台用のみとなります。

\$\$は屋根ふき材の種類を表します。

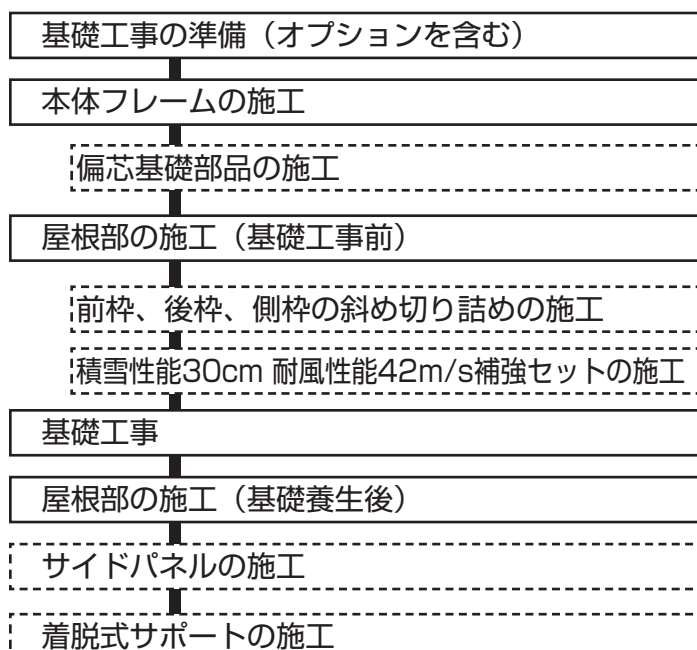
屋根ふき材の種類により、屋根ふき材の末尾の記号が異なります。

( )寸法はアルミ樹脂複合板の寸法を表します。

### 全体構成図



### 施工の流れ



〔 〕は、各同梱の説明書を参照してください。

# 基礎工事の準備

## ⚠ 注意

- 給排水配管、ガス管などの地下埋設物に干渉しないよう掘削時に注意してください。思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。商品が倒壊するおそれがあります。
- 基礎底部には割栗石、砂利または碎石を敷き、アルミ柱内に入った水や結露水が地盤に浸透するようにしてください。水が留まると柱の凍結破損や異常腐食につながるおそれがあります。
- 基礎寸法は指定寸法以上で施工してください。地盤の支持力が得られず、商品の沈下や風による転倒で、外壁などの損傷につながるおそれがあります。
- 基礎の根入れ深さは凍結深度より深くしてください。地面の水分が凍る過程で商品が押し上げられ、外壁などの損傷につながるおそれがあります。

## 墨出し

- 1 寸法図を参考に、墨出しを行ってください。「寸法図 (→P.44) 参照」

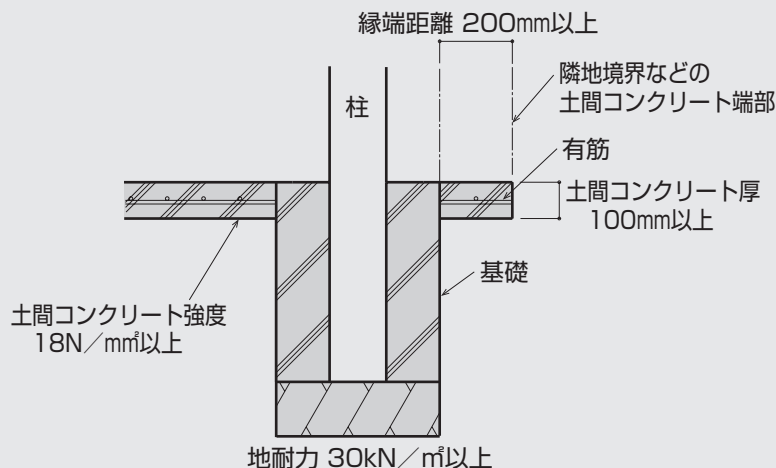
## 基礎の掘削

- 1 寸法図を参考に、柱の基礎穴をあけてください。「寸法図 (→P.44) 参照」

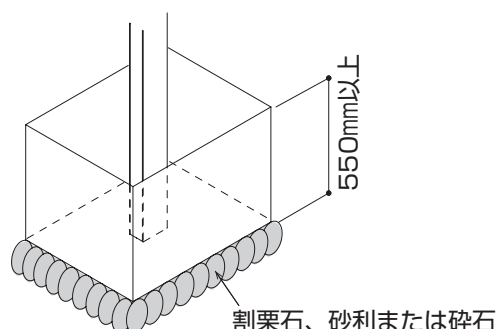


- 「独立基礎」と「土間コンクリート考慮基礎」で基礎サイズが異なります。
- 「土間コンクリート考慮基礎」の場合 下記条件を満たす必要があります。

### ● 土間コンクリート条件



- 2 基礎部に割栗石、砂利または碎石を敷き均し、突き固めてください。



# 本体フレームの施工

## ⚠ 注意

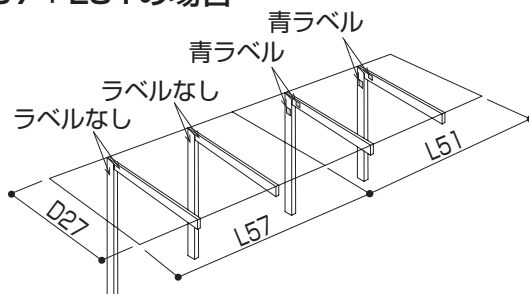
- サイズ違いの合掌、奥行連結および奥行延長セットを施工する場合、柱・梁・ジョイント材に貼り付けてある色付きラベルを確認して施工してください。  
カーポートサイズにより、柱・梁・ジョイント材が異なります。  
各カーポートサイズに対応した部材ラベルの色を確認して施工してください。  
間違った部材の組み合わせで施工すると、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。  
施工後、ラベルをはがしてください。

### エフルージュ FIRST 600 タイプ 1 台用の場合

#### ■サイズ別ラベル色

呼称	D24	D27	D30
L14(L51の場合)	青	青	ラベルなし
L14(L57の場合)	青	ラベルなし	ラベルなし
L51	青	青	ラベルなし
L57	青	ラベルなし	ラベルなし

#### ●例:奥行連結 D27 L57+L51の場合



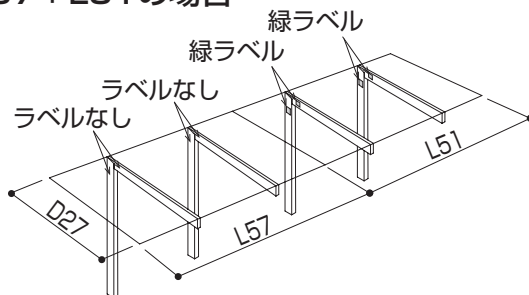
### エフルージュ FIRST Z 750 タイプ 1 台用の場合

#### ■サイズ別ラベル色

呼称	D24	D27	D30
L14(L51の場合)	赤	緑	ラベルなし
L14(L57の場合)	赤	ラベルなし	ラベルなし
L51	赤	緑	ラベルなし
L54	赤	ラベルなし	ラベルなし
L57	赤	ラベルなし	ラベルなし

強度：赤<緑

#### ●例:奥行連結 D27 L57+L51の場合

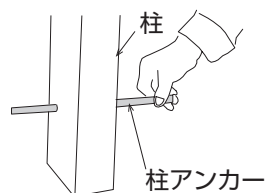


## お願い

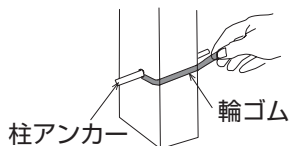
- 屋根の奥行方向に水勾配をつけてください。(1000mmに対し2~4mm)  
逆勾配は雨漏り・雨溜まりの原因となります。

## 柱の施工

1 柱アンカーを柱に取り付けてください。

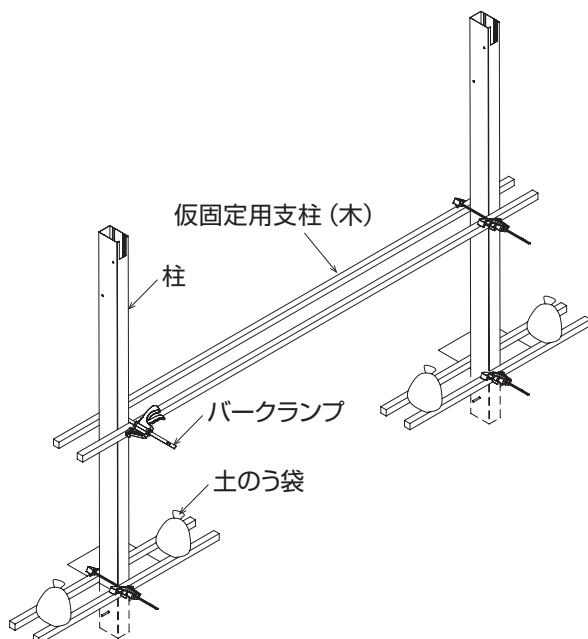


• 柱アンカーの脱落防止  
例：輪ゴムを柱アンカーに引っかける

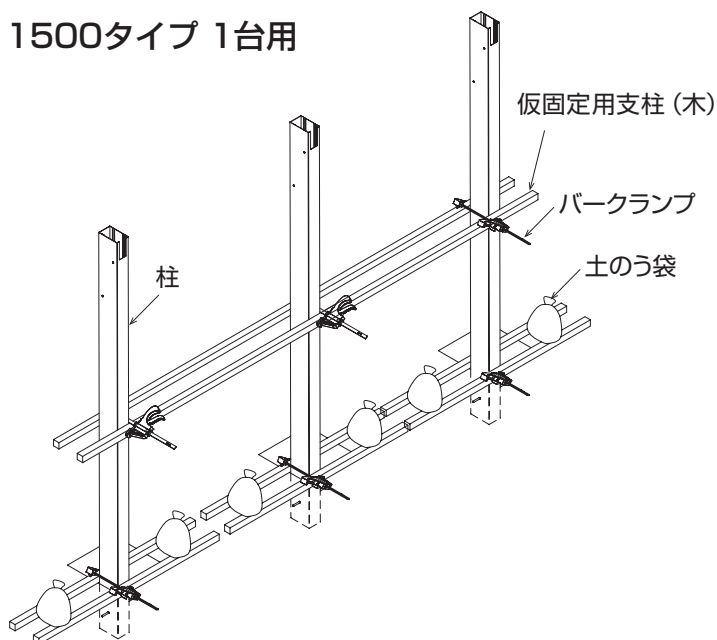


2 土のう袋、木片などを利用して柱を仮固定してください。

● エフルージュ FIRST 600タイプ 1台用・エフルージュ FIRST Z 750タイプ 1台用



● エフルージュ FIRST 1500タイプ 1台用

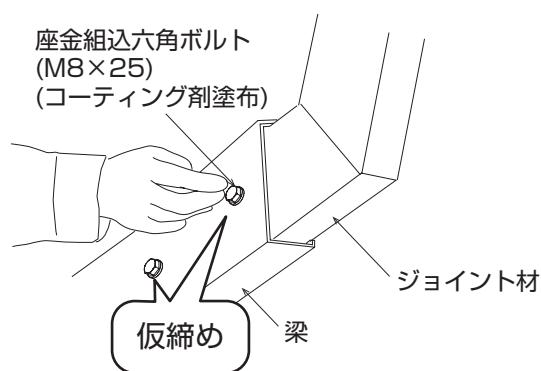


## 柱・梁の取り付け

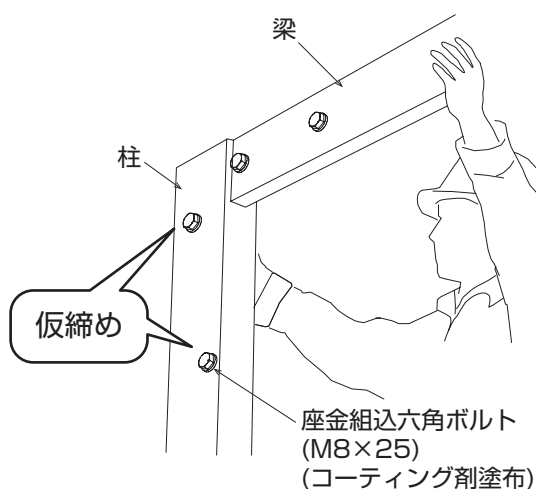


- **M合掌の場合** 梁連結材を取り付けてください。「梁連結材の取り付け(→P.40)参照」
- **Y合掌の場合** 柱連結材を取り付けてください。「柱連結材の取り付け(→P.42)参照」

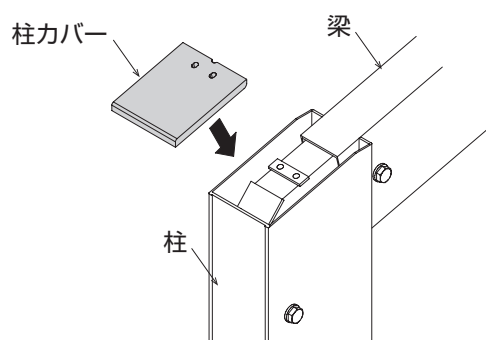
**1** ジョイント材を梁に挿入し、ボルトで仮締めしてください。



**2** 梁を挿入し柱にボルトで仮締めしてください。



**3** 柱カバーを柱に取り付けてください。



# 屋根部の施工（基礎工事前）

## 前枠・後枠・母屋の加工、部品付け（柱を移動する場合）

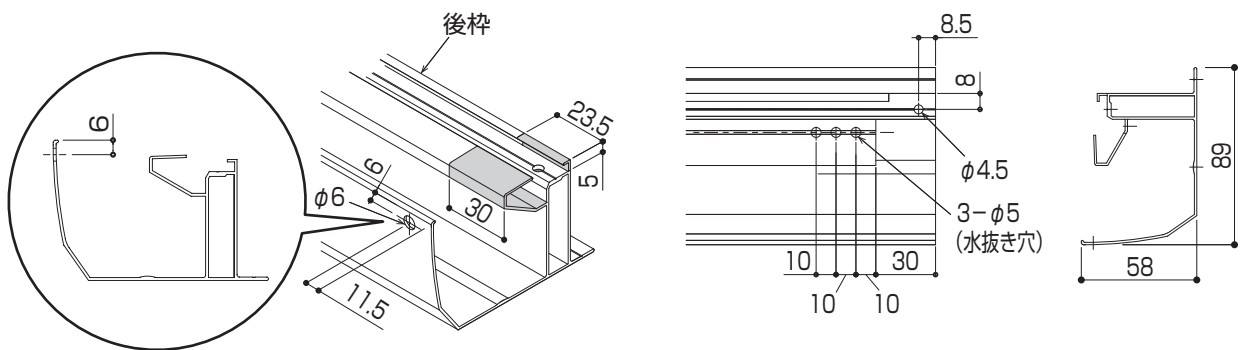
- 1 前枠・後枠・母屋に梁位置をあわせて穴加工してください。
- 2 既存の加工穴には穴塞ぎシールを貼ってください。

## 前枠・後枠・母屋の加工（奥行切り詰めする場合）

### お願い

- 必ず水抜き穴をあけてください。  
雨水が排水されず、雨漏りの原因となります。
- 部材を切り詰めする際、水密材のかしめ部分を切断する場合は、部材の端部をペンチなどでかき直してください。  
熱により水密材が縮み、漏水につながるおそれがあります。

- 1 前枠・後枠・母屋を切り詰めてください。
- 2 前枠・母屋の切り詰め側に左右同様に穴加工してください。
- 3 後枠の切り詰め側に切り欠き、穴加工してください。



## 前枠・後枠・母屋の加工（奥行延長・奥行連結する場合）

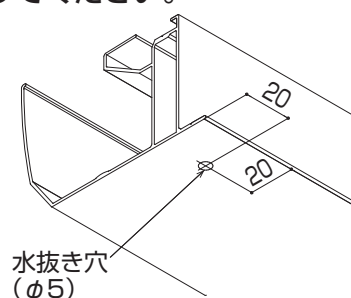
- 1 前枠・後枠・母屋に加工してください。「前枠・後枠・母屋の加工（→P.36）参照」
- 2 前枠・後枠・母屋を連結してください。「前枠・後枠・母屋の連結（→P.37）参照」

## 後枠の取り付け

### お願い

- 後枠キャップベースを直射日光が当たる場所または、高温の場所に放置しないでください。  
熱によりキャップが変形するおそれがあります。

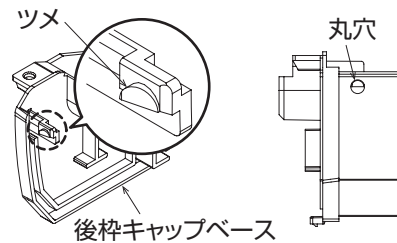
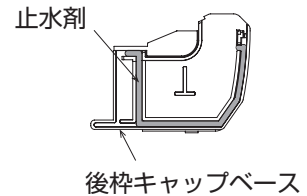
- 1 後枠の水下側に、水抜き穴をあけてください。



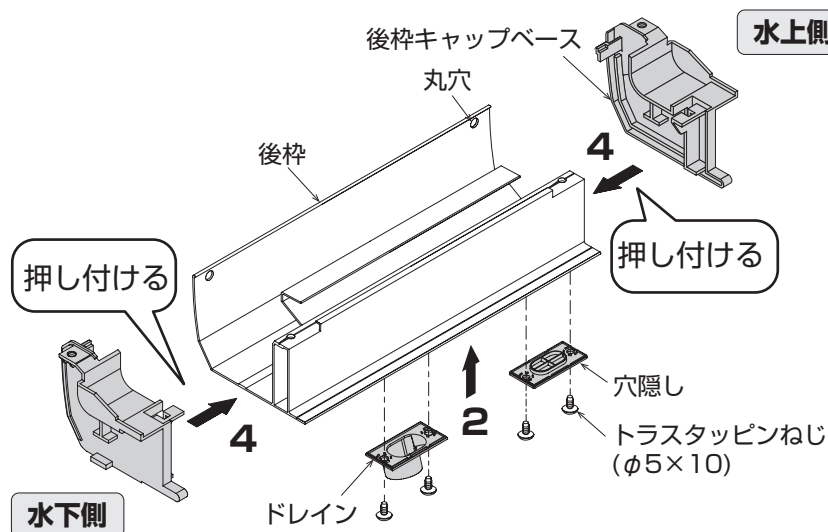
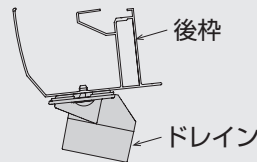
- 2 ドレイン・穴隠しを後枠に取り付けてください。
- 3 後枠キャップベース取り付け部の砂、ほこり、油、水分を拭き取ってください。
- 4 後枠キャップベースを後枠に取り付けてください。

### お願い

- 後枠キャップベースの止水剤に触れないでください。  
砂やほこり、油などを付着させないでください。  
接着性能が低下し、漏水につながるおそれがあります。
- 後枠キャップベースの取り付け部は、しっかりと押さえつけ  
止水剤を確実に密着させてください。  
接着不足の場合、漏水につながるおそれがあります。
- 後枠キャップベースのツメが後枠の丸穴に確実に  
入ったことを確認してください。  
接着不足の場合、漏水につながるおそれがあります。



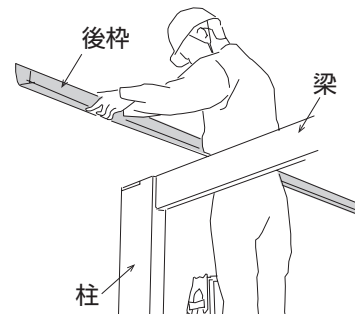
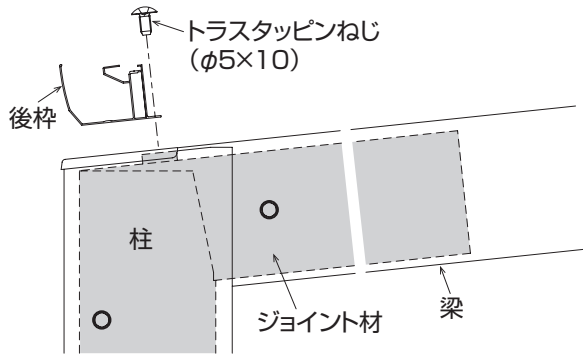
- 後枠キャップベースの取り付けは、側枠を取り付ける前に行ってください。
- ドレインの向きを確認してください。



**5 止水剤に砂やほこり、油などが付着した場合  
部品を取り付けなおす場合**

止水剤の上にシーリングして取り付けてください。

**6 後枠をジョイント材に取り付けてください。**





## 前枠の取り付け

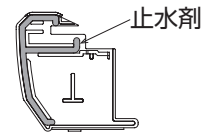
### お願い

- 前枠キャップベースを直射日光が当たる場所または、高温の場所に放置しないでください。熱によりキャップが変形するおそれがあります。

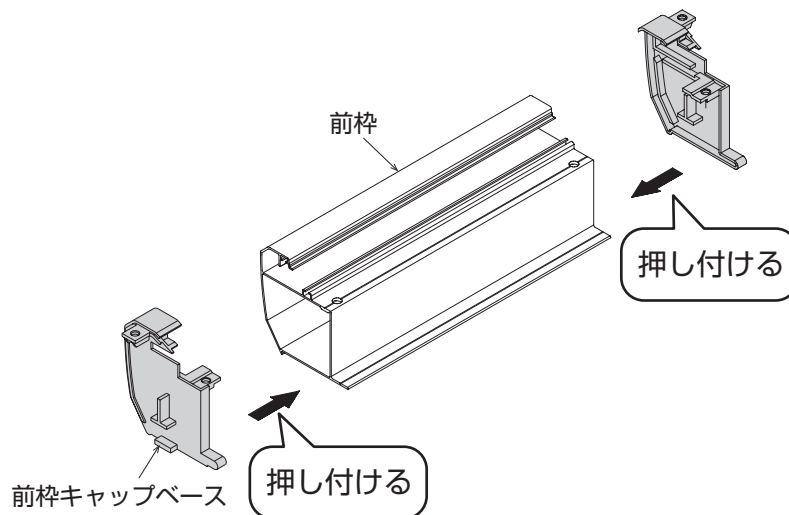
- 前枠キャップベース取り付け部の砂、ほこり、油、水分を拭き取ってください。
- 前枠キャップベースを前枠に取り付けてください。

### お願い

- 前枠キャップベースの止水剤に触れないでください。砂やほこり、油などを付着させないでください。接着性能が低下し、漏水につながるおそれがあります。
- 前枠キャップベースの取り付け部は、しっかりと押さえつけ止水剤を確実に密着させてください。接着不足の場合、漏水につながるおそれがあります。



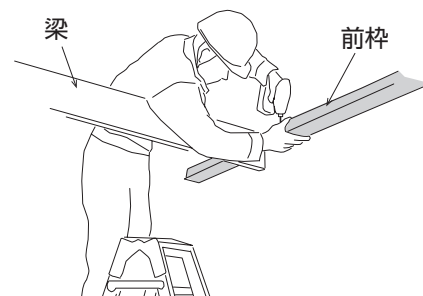
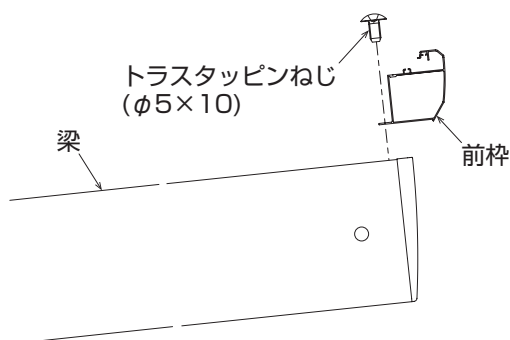
- 前枠キャップベースの取り付けは、側枠を取り付ける前に行ってください。



### 3 止水剤に砂やほこり、油などが付着した場合 部品を取り付けなおす場合

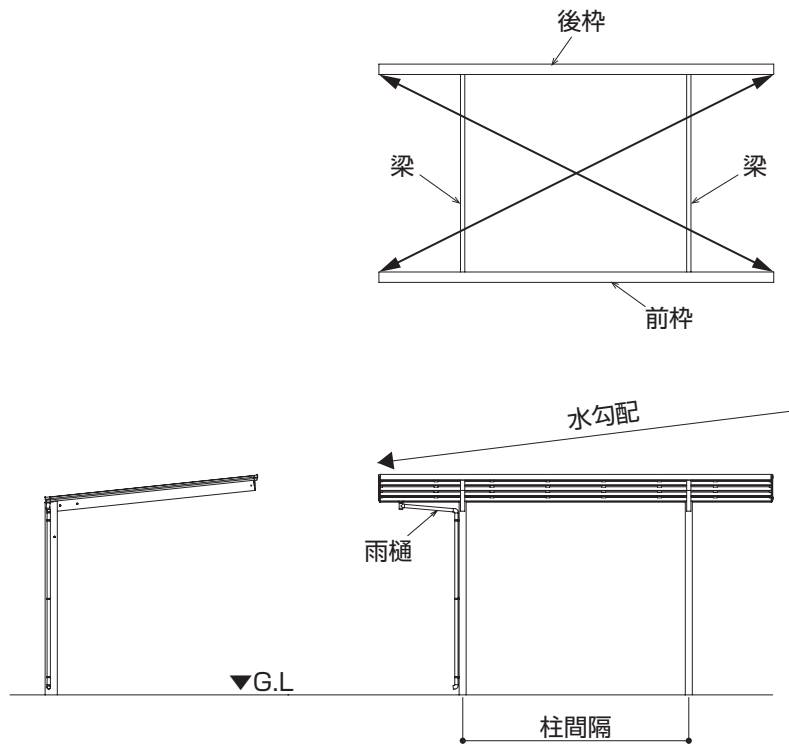
止水剤の上にシーリングして取り付けてください。

### 4 前枠を梁に取り付けてください。



## 寸法確認・調整

- 1 柱の間隔・垂直・対角を確認してください。
- 2 梁と後枠、梁と前枠の直角を確認してください。
- 3 後枠（奥行方向）の水勾配を確認してください。  
（雨樋取り付け側が水下側です）
- 4 寸法・角度があわない場合は部材を動かして調整してください。

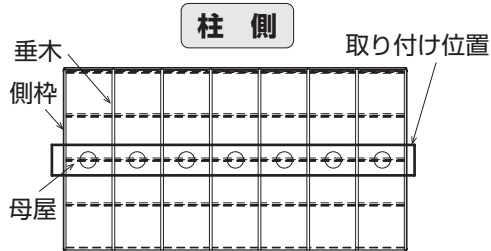


## 母屋の取り付け

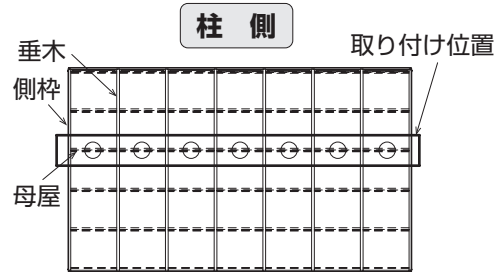
### 1 エフルージュ FIRST Z750タイプ 1台用・エフルージュ FIRST 1500タイプ 1台用の場合

①屋根ふき材補強部品・スペーサー取り付け位置を確認してください。

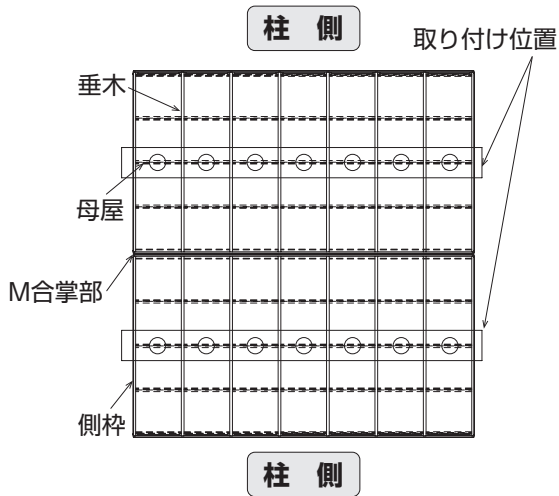
●母屋3本



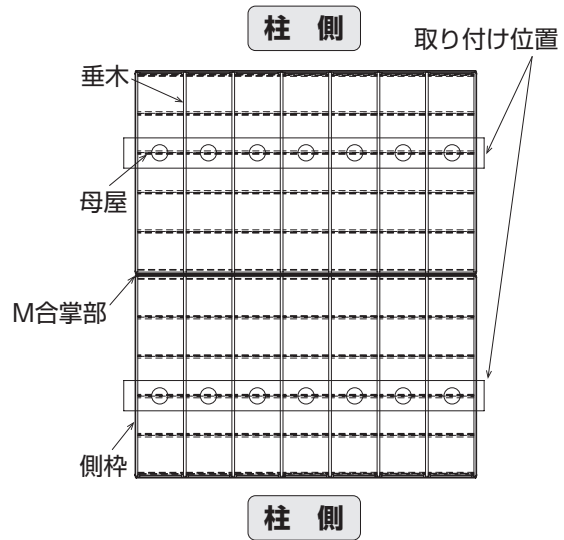
●母屋4本



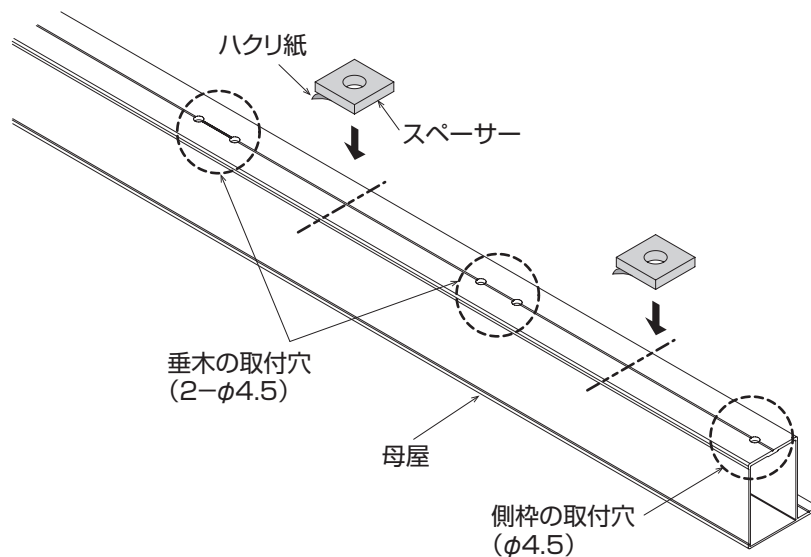
●母屋3本 M合掌・Y合掌



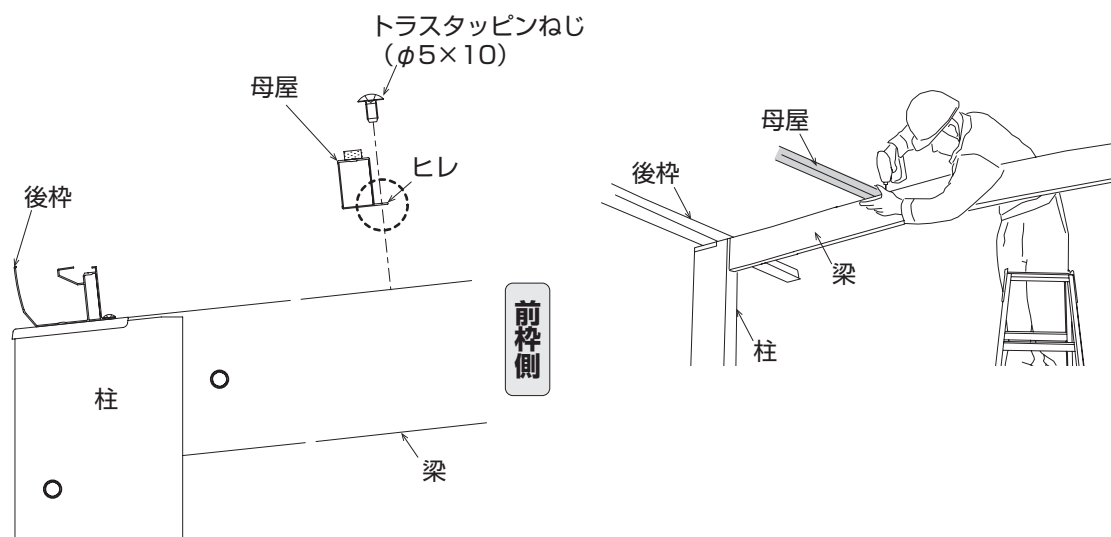
●母屋4本 M合掌



②スペーサーのハクリ紙をはがし、母屋の既設穴の各中央部に貼り付けてください。



**2** 母屋のヒレを前枠側に向けて、母屋を取り付けてください。



## 側枠・垂木の取り付け

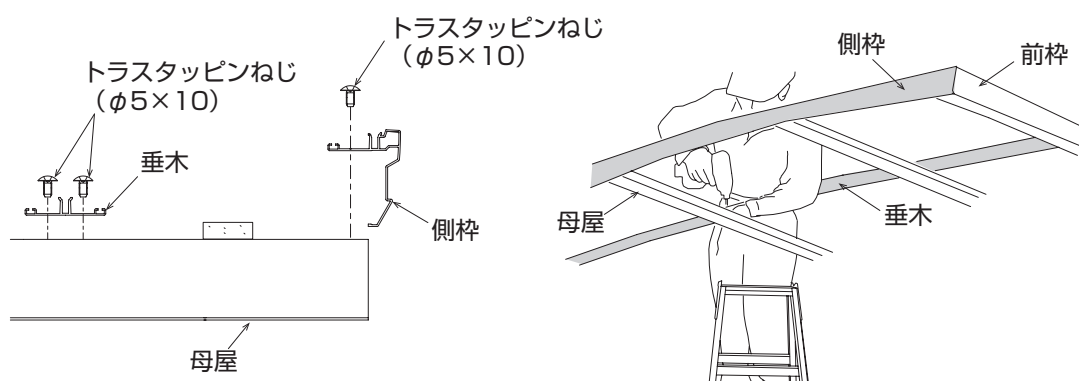


- ・ **奥行連結の場合** 連結垂木を取り付けてください。  
「連結垂木の取り付け（→P.39）参照」

### 1 側枠と垂木を取り付けてください。



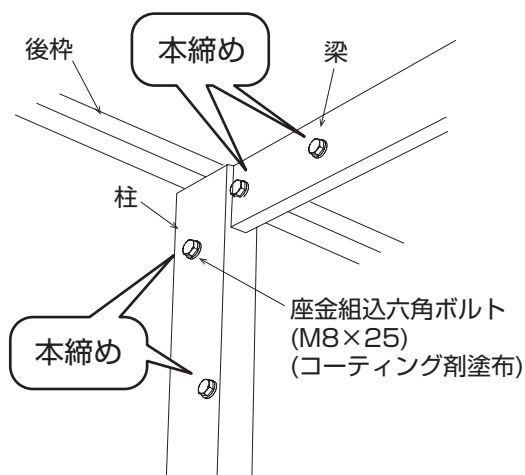
- ・ 前枠側→後枠側→母屋部の順番でねじ留めすると穴位置があわせやすくなります。



## 柱・梁取付ボルトの本締め

### 1 寸法を確認してください。「寸法確認・調整（→P.24）参照」

### 2 柱・梁取付ボルトを本締めしてください。



# 基礎工事

## ⚠ 注意

- 基礎コンクリートやモルタルには、腐食性の強い塩素系混和剤(急結剤など)や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。柱の異常腐食や、商品の破損につながるおそれがあります。
- 屋根ふき材の取り付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。コンクリートの強度が十分になるまで、過度の衝撃や荷重を与えないようにし、雨、霜、凍結、日光などに対してコンクリートを保護してください。(目安：4日～7日)基礎の強度低下につながるおそれがあります。
- 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れたあとに柱を立てると、柱内部に水がたまり凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。

## お願い

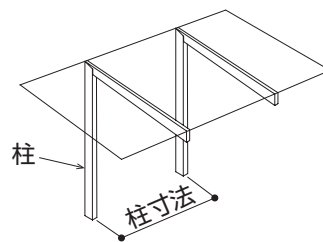
- モルタルやコンクリートなどが商品の表面に付着した場合は、速やかに拭き取ってください。外観不良(シミ・汚れ・つや落ち)につながるおそれがあります。
- 柱のレベル調整は、コンクリート・モルタルが固まる前に行ってください。固まった後の調整は、柱の強度が著しく低下するおそれがあります。

## 柱の水抜き穴加工

- 1 柱に水抜き穴をあけてください。(穴位置は「基礎コンクリートの打ち込み」を参照)

## 柱の寸法確認

- 1 柱寸法を確認してください。「寸法図(→P.44)参照」

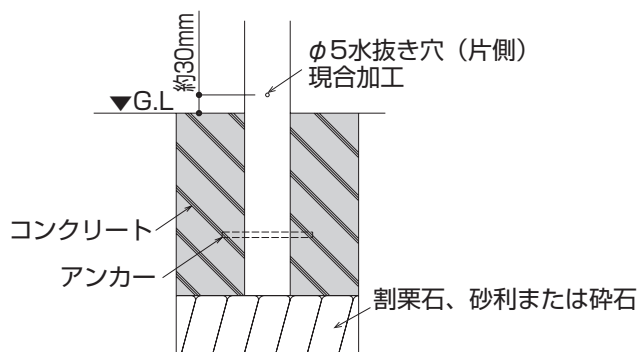


## 基礎コンクリートの打ち込み

- 1 基礎穴に基礎コンクリートを打ち込んでください。

## お願い

- 指定位置に必ず水抜き穴をあけてください。凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。
- コンクリートは十分に締め固めてください。ジャンカや空隙などが発生し、コンクリートの品質が低下します。
- 柱の水抜き穴はコンクリートなどで塞がないでください。塞がった場合は、水抜き穴をあけてください。水が溜まり腐食の原因および思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



# 屋根部の施工（基礎養生後）

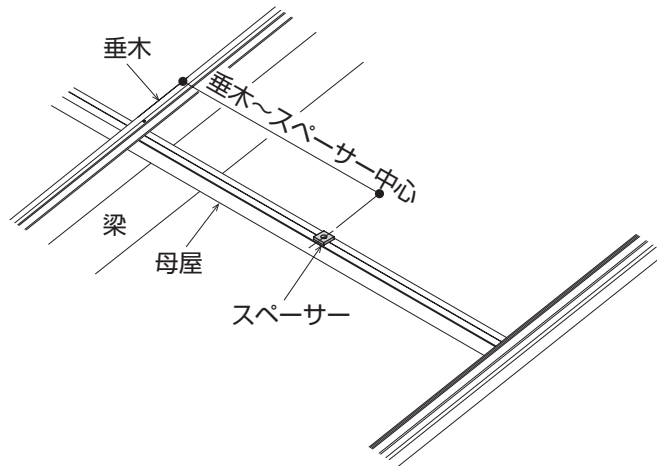
## 屋根ふき材の取り付け



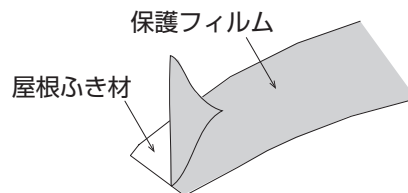
- **M合掌の場合** 合掌材を取り付けてください。「合掌材の取り付け（→P.41）参照」
- **Y合掌の場合** 合掌材を取り付けてください。「合掌材の取り付け（→P.43）参照」

### 1 屋根ふき材がブラックマット色の場合

垂木からスペーサー中心までを測定してください。



### 2 屋根ふき材の保護フィルムをはがしてください。

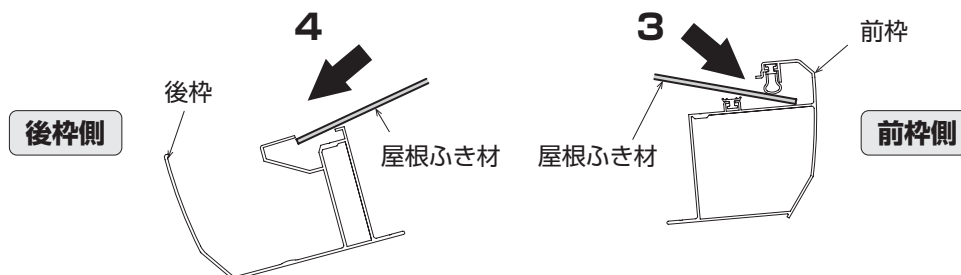


### 3 屋根ふき材を前枠側に挿入してください。

### 4 屋根ふき材を後枠側に挿入してください。



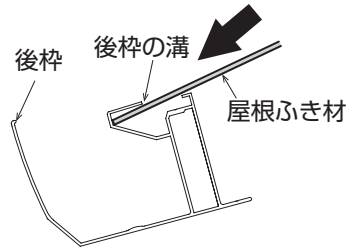
- **屋根ふき材がマット調の場合** マット面(凹凸面)を屋根下面にしてください。



**5** 屋根ふき材を後枠の溝の奥にあたるまで押し込んでください。

**⚠ 注意**

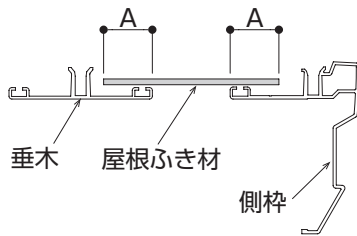
- 屋根ふき材は必ず後枠の溝の奥にあたるまで押し込んでください。  
耐荷重性能低下により商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



**6** 屋根ふき材の左右のみ込みをあわせてください。

**⚠ 注意**

- 屋根ふき材のみ込みが左右同じになるように調整してください。  
耐荷重性能低下により商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



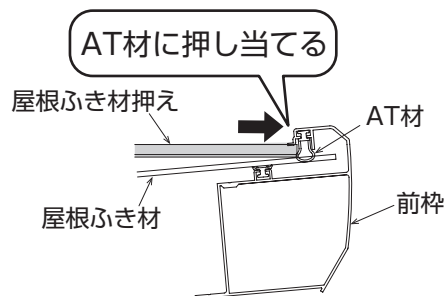
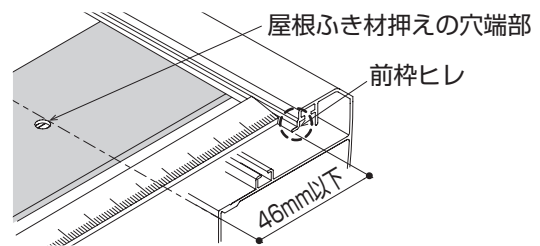


## 屋根ふき材押えの取り付け

1 屋根ふき材押えを前枠に挿入し、AT材に押し当ててください。

### お願い

- 屋根ふき材押えの穴端部と前枠ヒレ先端が46mm以下になるよう押し込んでください。押し込みが浅い場合、漏水のおそれがあります。



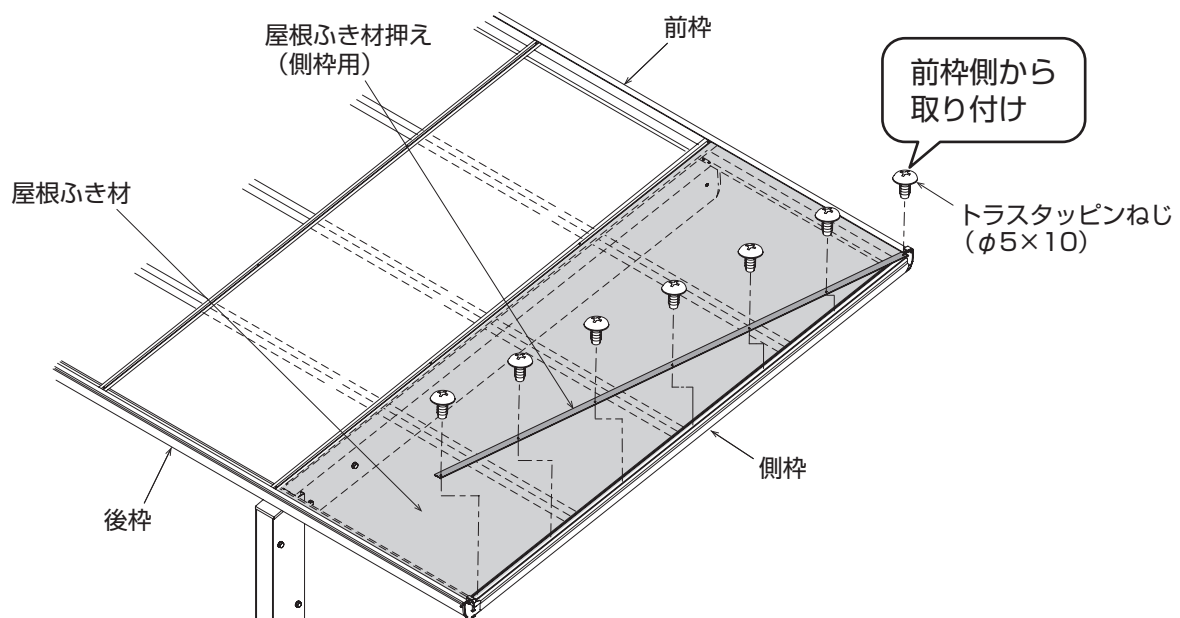
2 AT材に押し当てたまま、前枠側から屋根ふき材押えを側枠に取り付けてください。

### ⚠ 注意

- 屋根ふき材押えの取付ねじは、適正トルクでねじ留めしてください。締め付けすぎるとねじが空転し、強度低下や脱落により思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。締め付けトルクは以下を目安に設定してください。  
2.5~3.0N・m(25~30kgf・cm)

### お願い

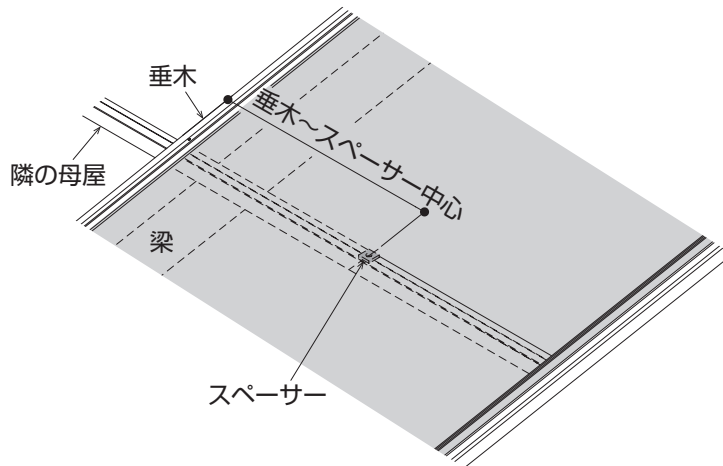
- 前枠側→後枠側の順に取り付けてください。雨漏りの原因となります。
- 屋根ふき材押えの取付ねじは、部材に対して垂直に取り付けてください。ねじの浮き、および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



**3 エフルージュ FIRST Z750タイプ 1台用・エフルージュ FIRST 1500タイプ 1台用の場合**  
屋根ふき材補強部品を取り付けてください。

**① 屋根ふき材がブラックマット色の場合**

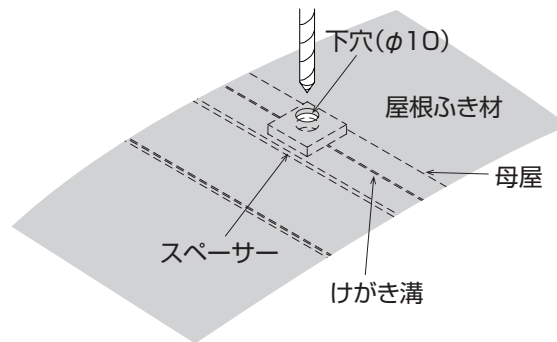
隣の母屋の延長線上に、垂木からスペーサー中心位置に印を付けてください。



**② 屋根ふき材補強部品を取り付ける位置の屋根ふき材に、穴中心が母屋のけがき溝にあうように、穴加工 (φ10) してください。**

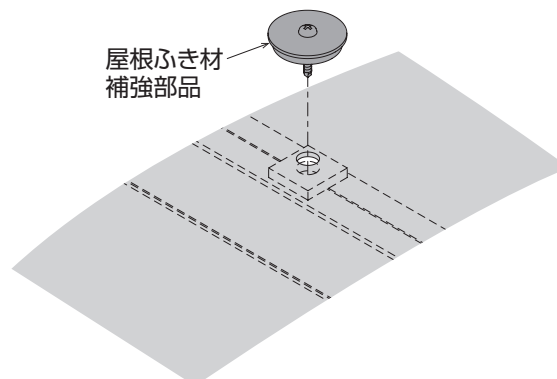


• 低温時での穴加工は、ポリカーボネート板が割れるおそれがあります。



**③ 切削屑を除去してください。**

**④ 屋根ふき材補強部品を取り付けてください。**



**「屋根ふき材の取り付け」～「屋根ふき材押えの取り付け」の繰り返し**

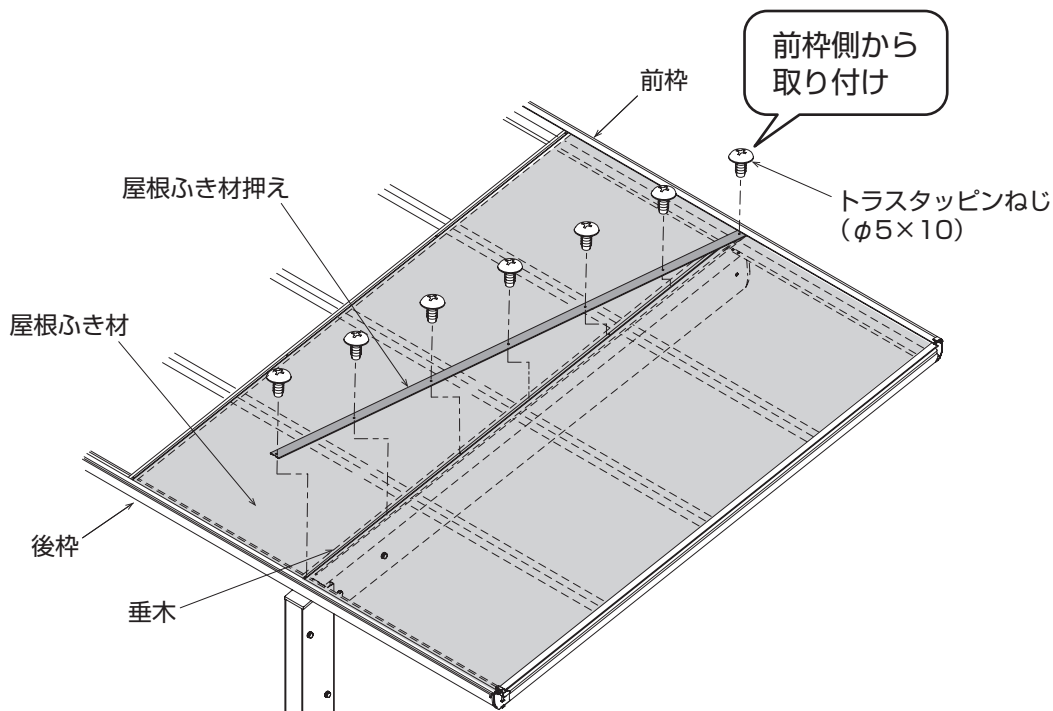
1 「屋根ふき材の取り付け」～「屋根ふき材押えの取り付け」を繰り返してください。

**⚠ 注意**

- 屋根ふき材押えの取付ねじは、適正トルクでねじ留めしてください。締め付けすぎるとねじが空転し、強度低下や脱落により思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。締め付けトルクは以下を目安に設定してください。  
2.5～3.0N・m(25～30kgf・cm)

**お願い**

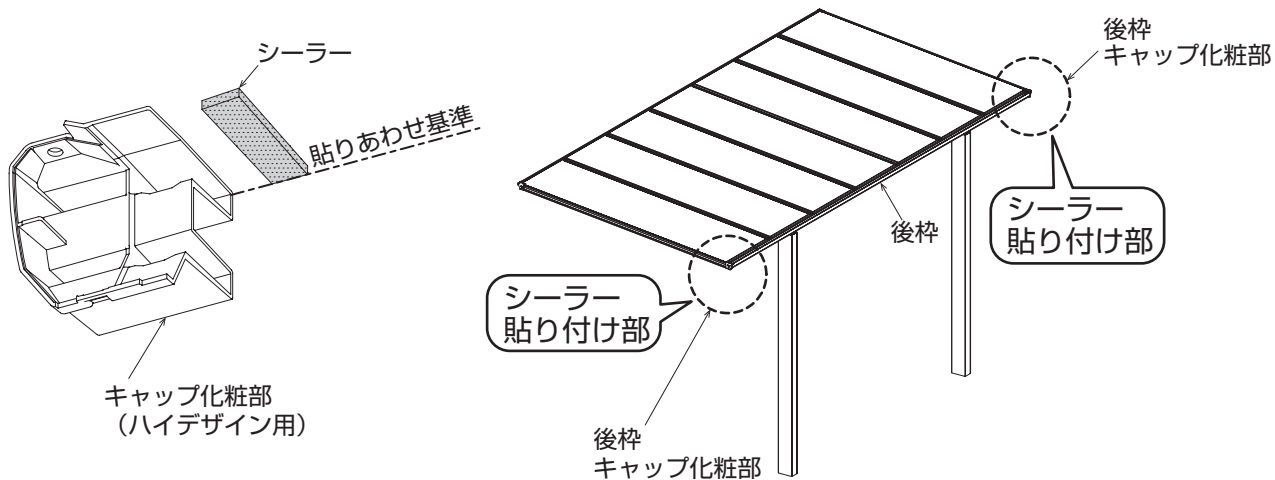
- 前枠側→後枠側の順に取り付けてください。雨漏りの原因となります。
- 屋根ふき材押えの取付ねじは、部材に対して垂直に取り付けてください。ねじの浮き、および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



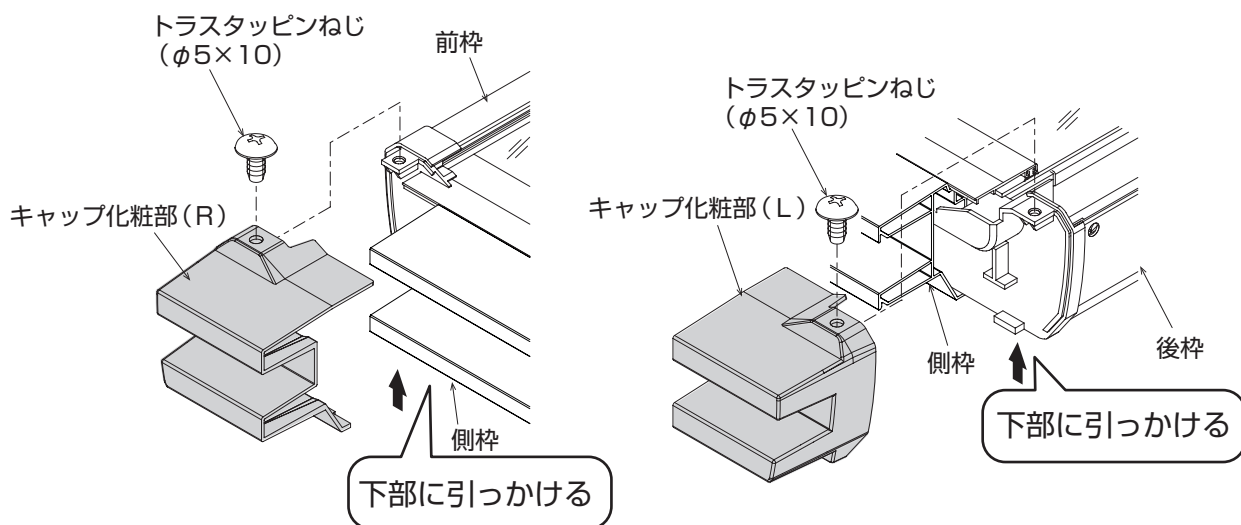
# コーナーキャップの取り付け

## 1 ハイデザインの場合

シーラーを後枠部のキャップ化粧部の内側に貼り付けてください。



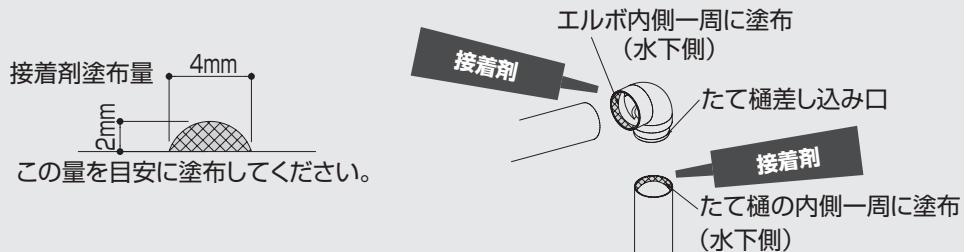
## 2 キャップ化粧部を前枠と後枠に取り付けてください。



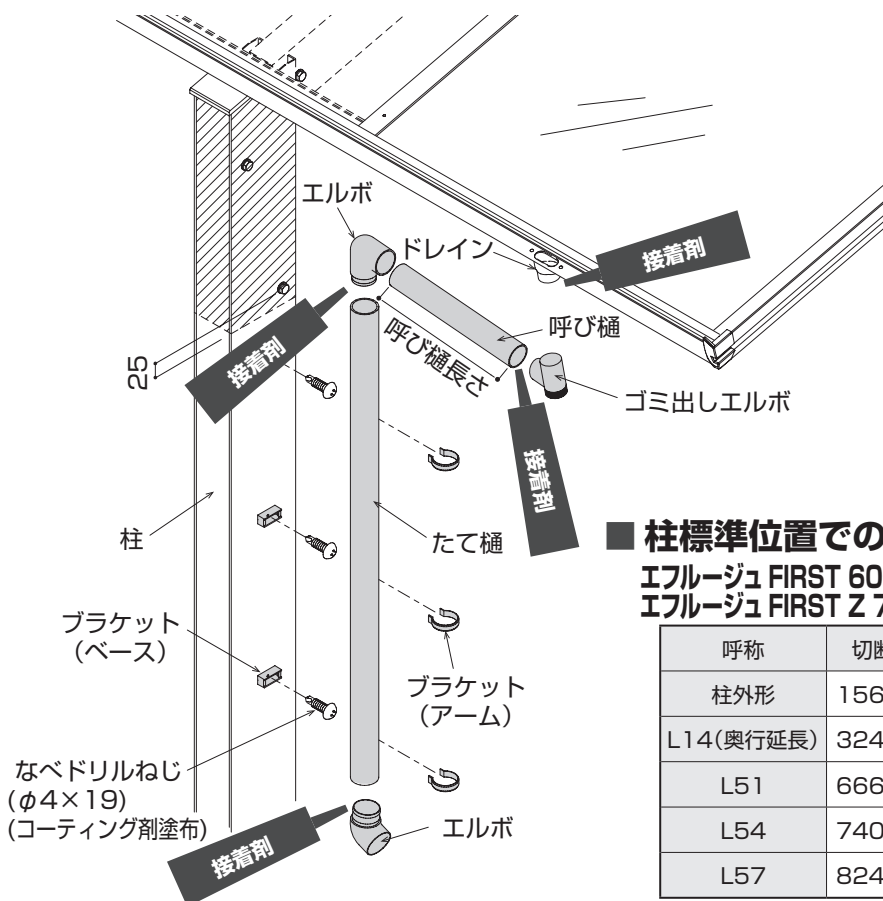
## 雨樋の施工



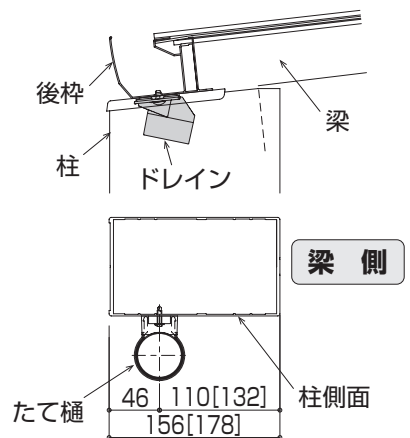
- 雨樋部品からの水漏れ防止のため、下記の要領で接着剤を塗布してください。必ず商品に同梱の接着剤を使用してください。



- 1 ブラケット（ベース）を柱に取り付けてください。  
斜線部のジョイント材部分に取り付ける場合およびH28に取り付ける場合は、スチール補強が入っているため、柱に下穴(φ3.5)をあけてください。
- 2 呼び樋を取り付け長さにあわせて切断してください。（表参照）
- 3 ゴミ出しエルボをドレインに挿入してください。
- 4 呼び樋をゴミ出しエルボに挿入してください。
- 5 エルボを呼び樋に挿入してください。
- 6 たて樋を取り付け長さにあわせて切断してください。
- 7 たて樋をエルボに挿入してください。
- 8 エルボをたて樋に挿入してください。
- 9 ブラケット（アーム）をたて樋に挿入してください。
- 10 たて樋のブラケット（アーム）をブラケット（ベース）に取り付けてください。



### ■ 取り付け位置



### ■ 柱標準位置での呼び樋長さ

エフルージュ FIRST 600 タイプ 1 台用  
エフルージュ FIRST Z 750 タイプ

呼称	切断寸法
柱外形	156 178
L14(奥行延長)	324 314
L51	666 656
L54	740 730
L57	824 814

エフルージュ FIRST  
1500 タイプ 1 台用

呼称	切断寸法
L51	403
L57	462

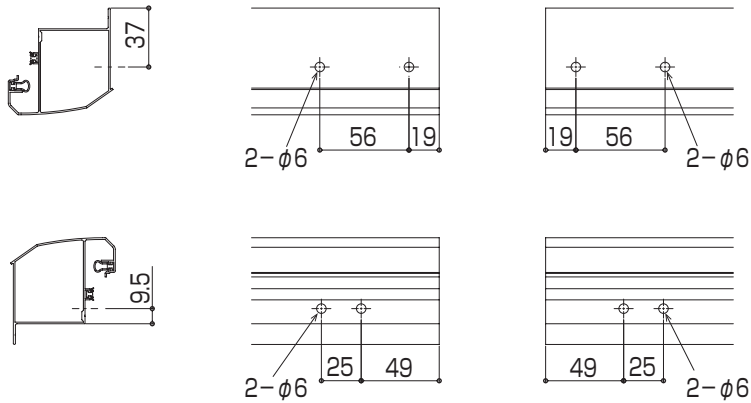
# 奥行連結の施工



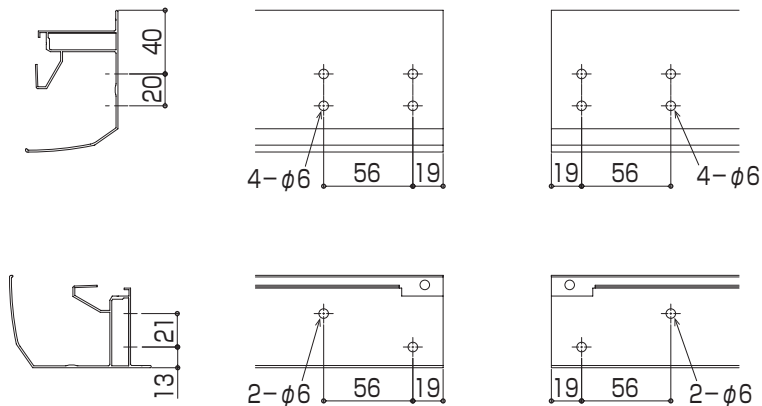
• 本章は、単体セットの施工と異なる部分のみを説明しています。

## 前枠・後枠・母屋の加工

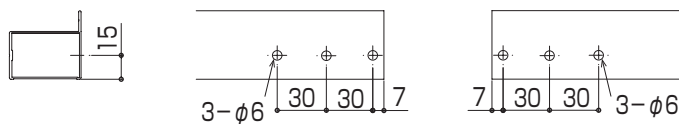
**1** 前枠の連結部に穴加工 (φ6) してください。



**2** 後枠の連結部に穴加工 (φ6) してください。



**3** 母屋の連結部に穴加工 (φ6) してください。



## 前枠・後枠・母屋の連結

### お願い

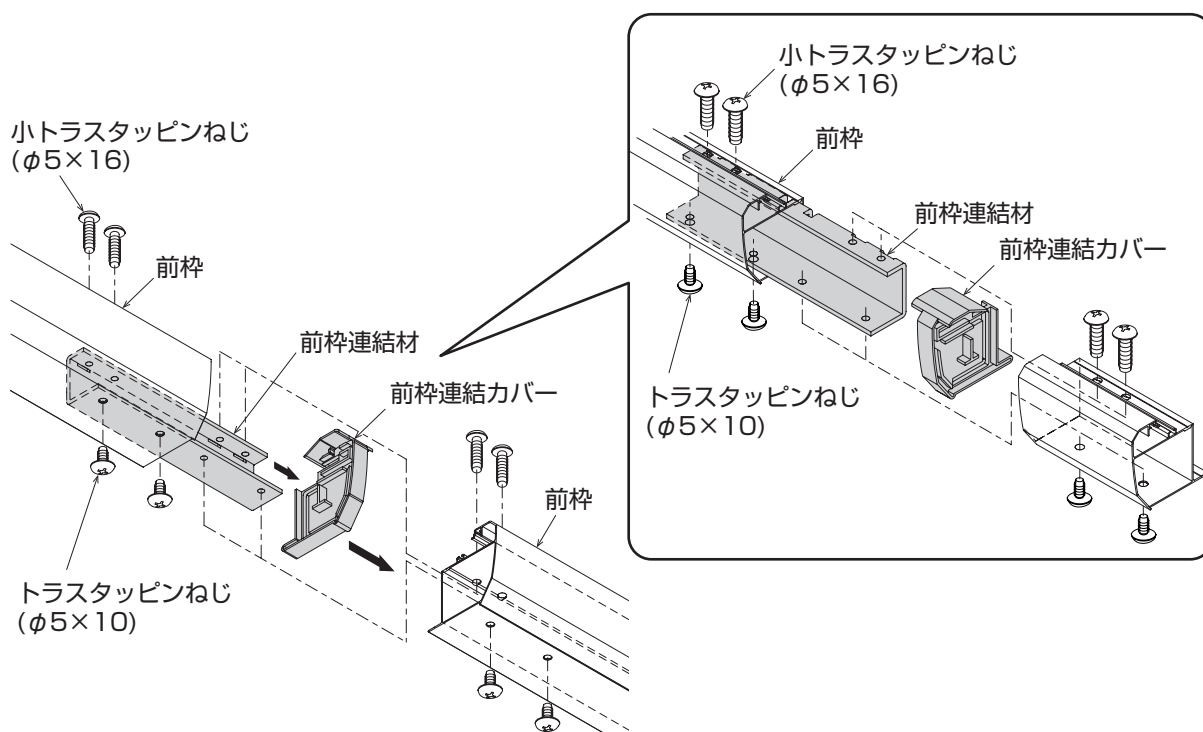
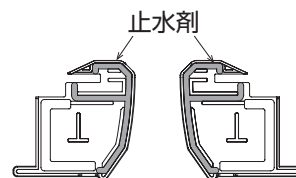
- 前枠連結カバー、後枠連結カバーを直射日光が当たる場所または、高温の場所に放置しないでください。  
熱によりキャップが変形するおそれがあります。

**1** 前枠連結カバー取り付け部の砂、ほこり、油、水分を拭き取ってください。

**2** 前枠を連結してください。

### お願い

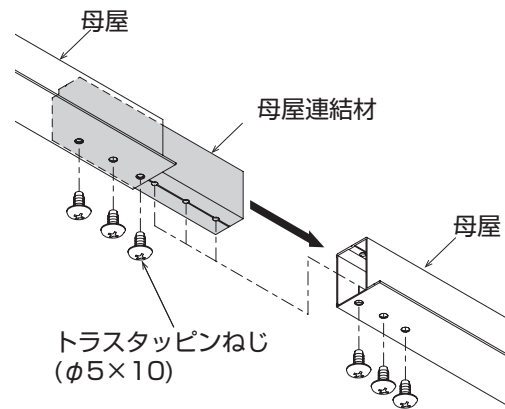
- 前枠連結カバーの止水剤に触れないでください。  
砂やほこり、油などを付着させないでください。  
接着性能が低下し、漏水につながるおそれがあります。
- 前枠連結カバーの取り付け部は、しっかりと押さえつけ  
止水剤を確実に密着させてください。  
接着不足の場合、漏水につながるおそれがあります。



**3** 止水剤に砂やほこり、油などが付着した場合  
部品を取り付けなおす場合

止水剤の上にシーリングして取り付けてください。

**4** 母屋を連結してください。

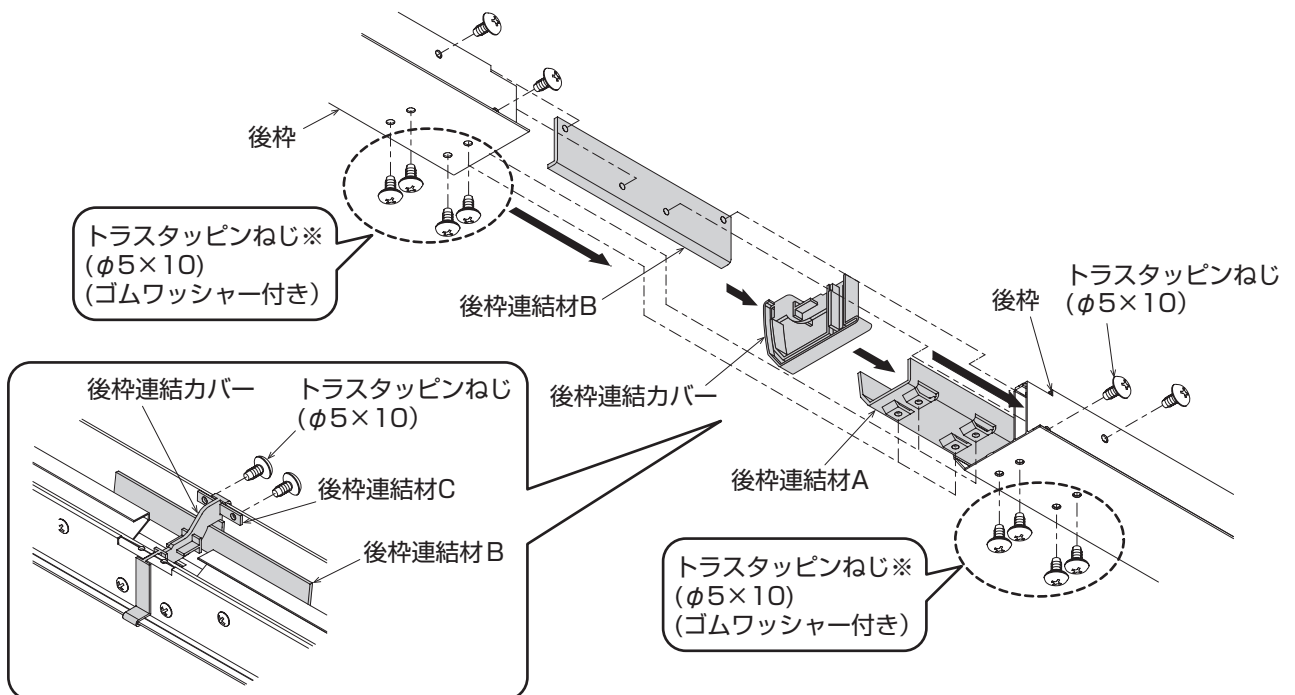


**5** 後枠連結カバー取り付け部の砂、ほこり、油、水分を拭き取ってください。

**6** 後枠を連結してください。

**お願い**

- 後枠連結カバーの止水剤に触れないでください。砂やほこり、油などを付着させないでください。接着性能が低下し、漏水につながるおそれがあります。
- 後枠連結カバーの取り付け部は、しっかりと押さえつけ止水剤を確実に密着させてください。接着不足の場合、漏水につながるおそれがあります。
- 後枠下面は、トラスタッピンねじ（ゴムワッシャー付き）を使用してください。※ねじを付け間違えると漏水のおそれがあります。



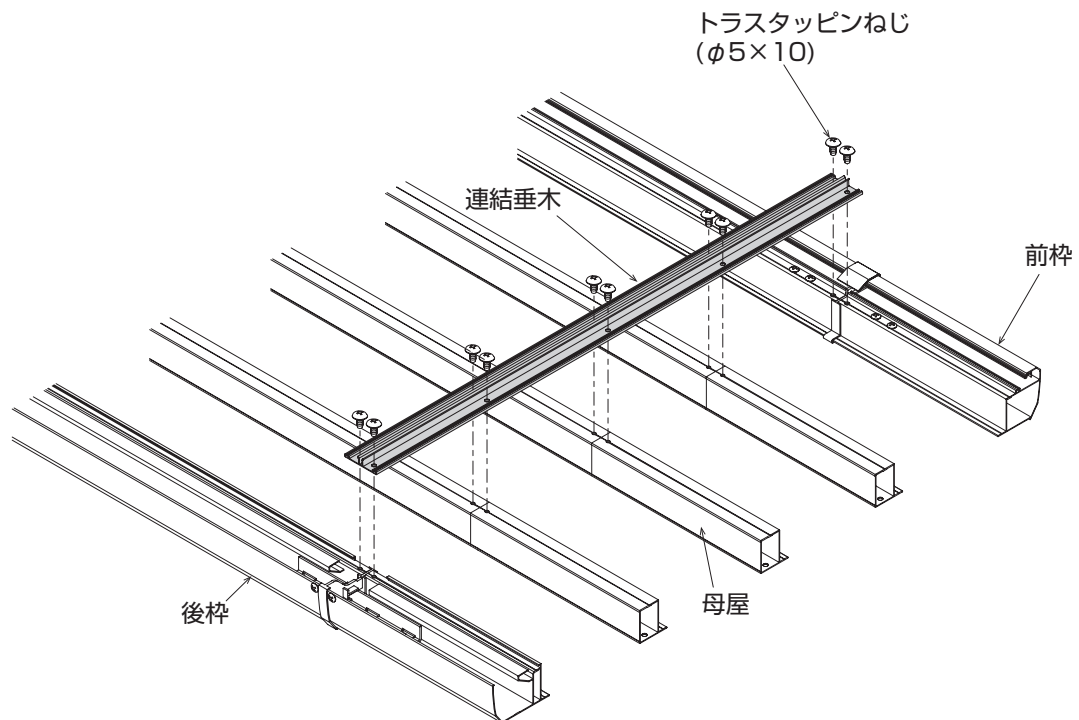
**7** 止水剤に砂やほこり、油などが付着した場合  
部品を取り付けなおす場合

止水剤の上にシーリングして取り付けてください。



## 連結垂木の取り付け

1 連結垂木を連結部に取り付けてください。



# M合掌の施工

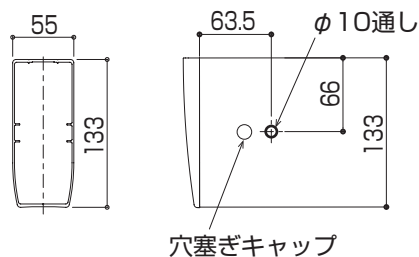


- 本章は、単体セットの施工と異なる部分のみを説明しています。
- 柱連結材の取り付けは、基礎工事の前に行ってください。  
「柱・梁の取り付け (→P.19) 参照」

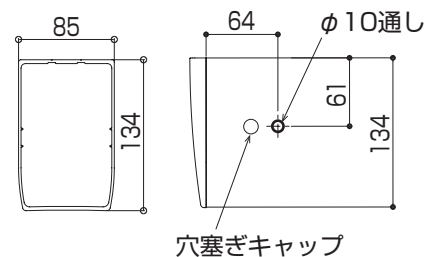
## 梁連結材の取り付け

- 1 梁の穴塞ぎキャップをはずしてください。
- 2 梁の連結部に穴加工 ( $\phi 10$ ) してください。

### ● 梁 (小) の場合



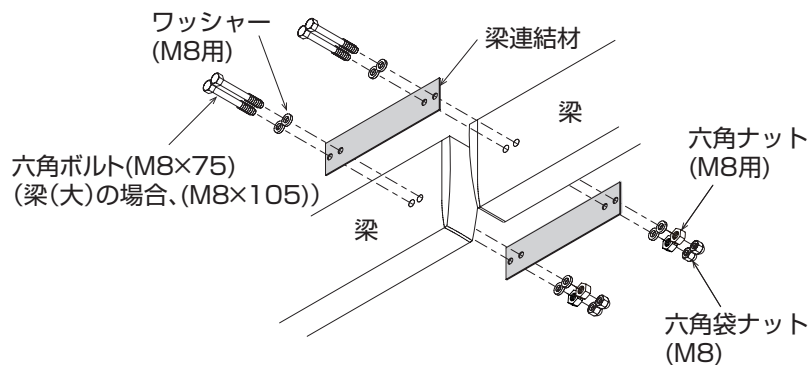
### ● 梁 (大) の場合



- 3 梁連結材を梁の連結部に取り付けてください。



- ボルトを締め込み過ぎないでください。





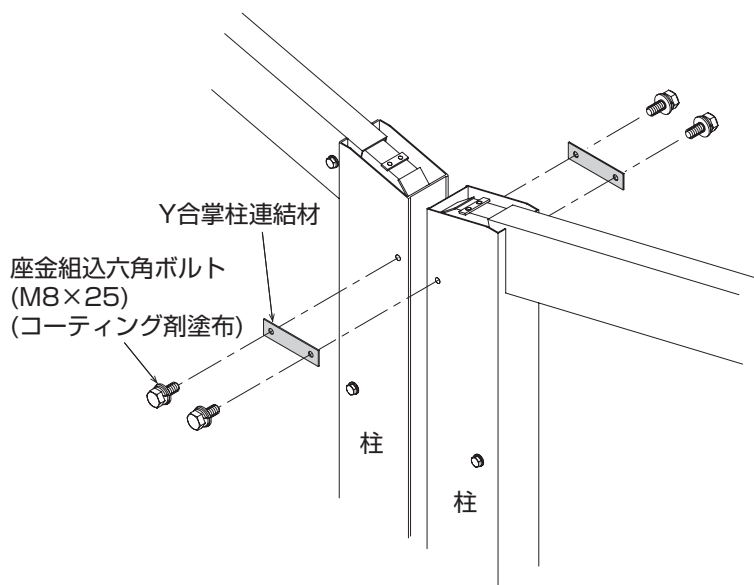
# Y合掌の施工



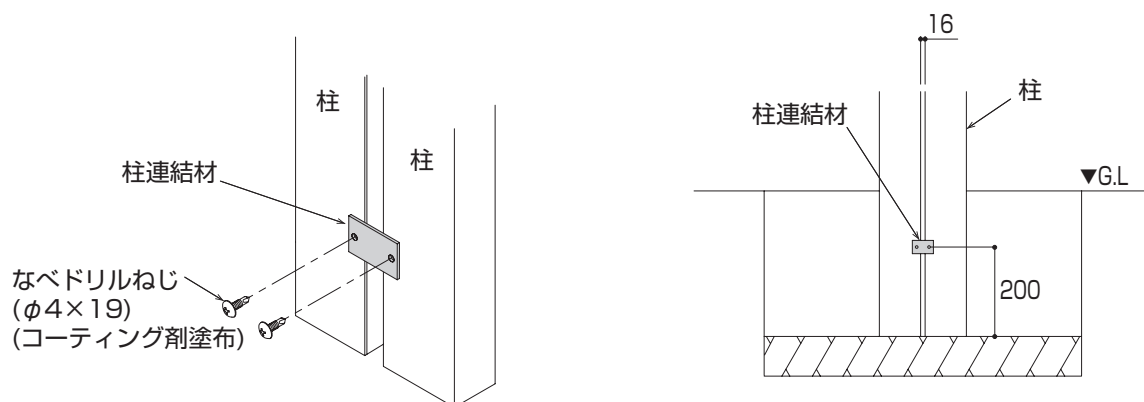
- 本章は、単体セットの施工と異なる部分のみを説明しています。
- 柱連結材の取り付けは、基礎工事の前に行ってください。  
「柱・梁の取り付け (→P.19) 参照」

## 柱連結材の取り付け

1 Y合掌柱連結材を連結部の柱上部にジョイント材固定用ボルトで取り付けてください。

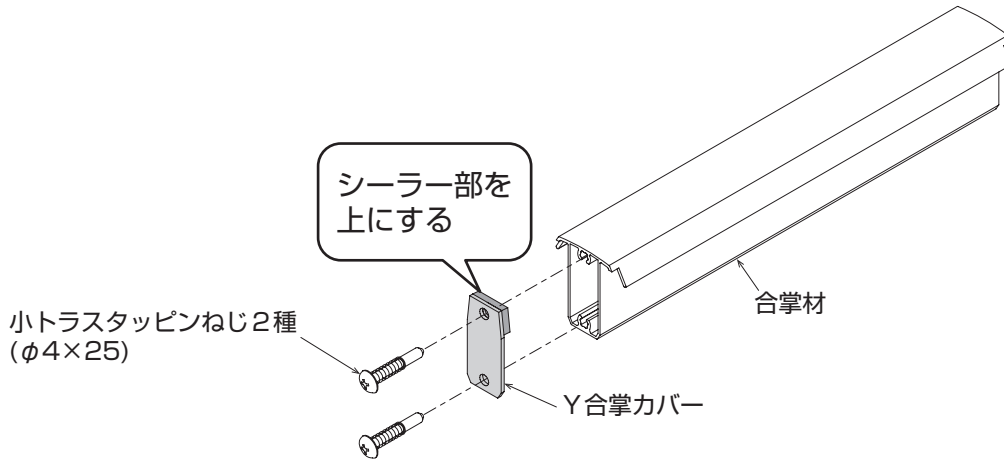


2 柱連結材を連結部の柱下部に取り付けてください。

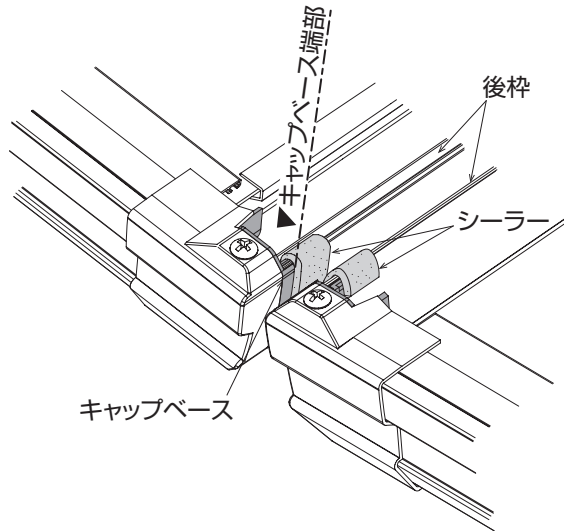


## 合掌材の取り付け

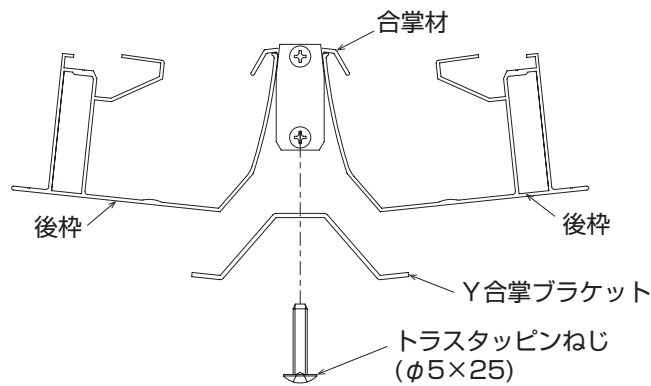
**1** Y合掌カバーのシーラー部を上にして合掌材に取り付けてください。



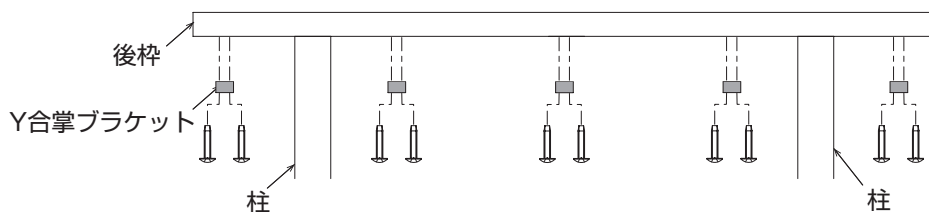
**2** シーラーを後枠に貼り付けてください。



**3** 合掌材を後枠の連結部に取り付け、Y合掌ブラケットで5箇所を固定してください。



### ■ Y合掌ブラケット取り付け位置



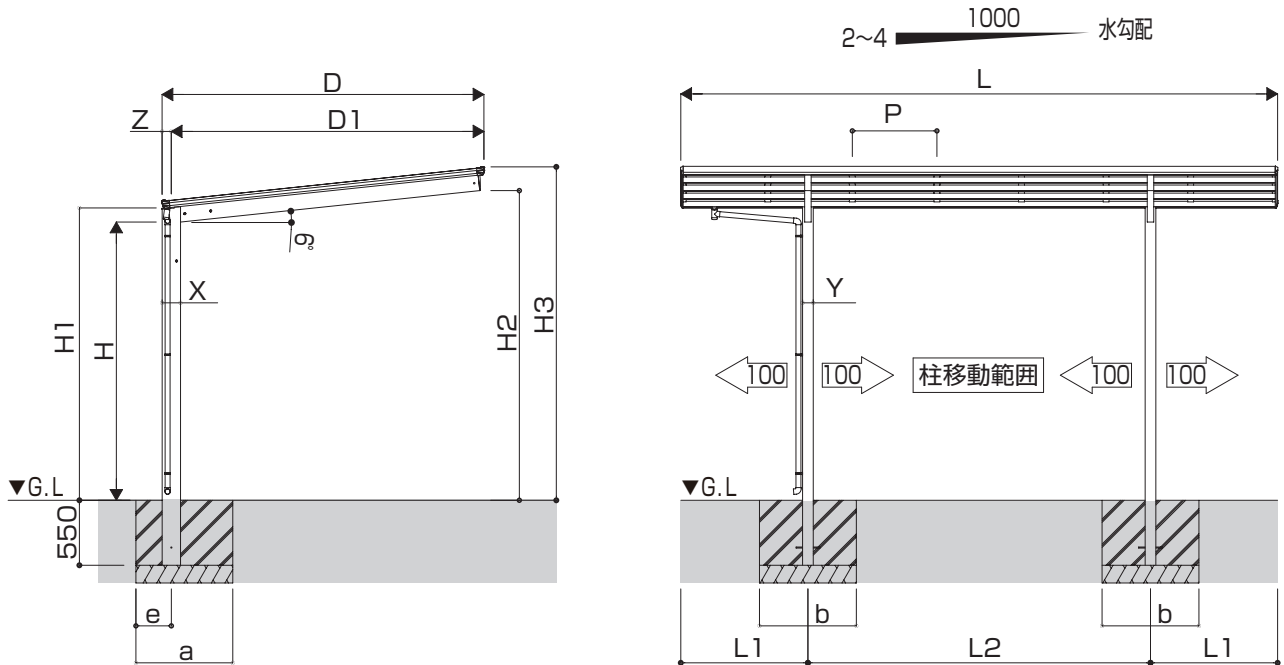
# 寸法図



- 積雪30cmタイプ、サイドパネル付きの場合も基礎サイズは同寸法です。
- **サイドパネル付きの場合** 必ずサポートを取り付けてください。

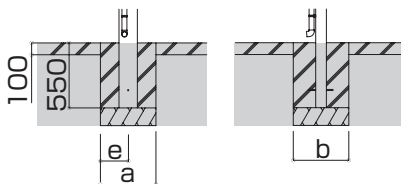
## エフルージュ FIRST 600 タイプ 1 台用

### 単体セット



図は、独立基礎の場合を示します。

### 【土間コンクリート考慮基礎の場合】



### ■寸法表

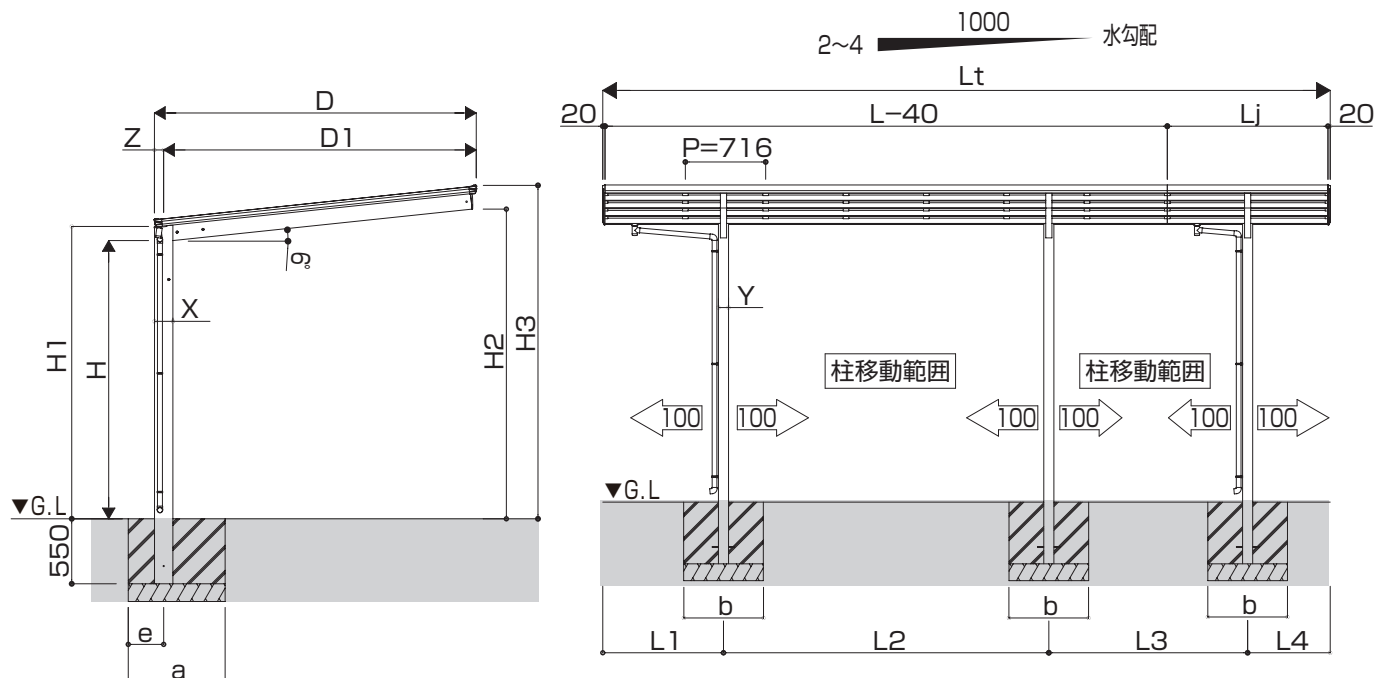
間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	D	D1	L	L1	L2	H※	H1※	H2※	H3※	X	Y	Z
24	51	22 25※ 28※	2422	2344	5052	1076	2900	2200	2320	2435	2635	156	90	78
	57				5768	1234	3300							
27	51		2724	2646	5052	1076	2900		2318	2466	2667	178	110	89
	57		2635	5768	1234	3300								
30	51		3026	2938	5052	1076	2900		2318	2496	2698	178	110	89
	57		5768		1234	3300								

※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称25の場合300、28の場合600足してください。

### ■基礎寸法表

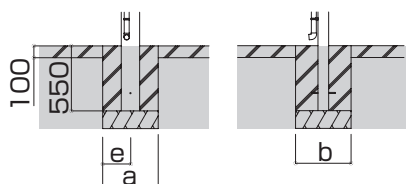
間口呼称	奥行呼称	独立基礎						土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)										
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )						地耐力(kN/m <sup>2</sup> )										
		30		50		100		30		50		100						
a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e							
24	51	1100	300	300	300	300	1000	800	550	275	500	250	500	250				
	57								1050	900					600	300		
27	51	1150					1150	950	1000	650	325	550	275	600	300	550	275	
	57	1200										1000	650					325
30	51	1250					1250	1050	700	350	650	325	600	300	650	325	550	275
	57	1300											1050	700				

奥行延長セット



図は、独立基礎の場合を示します。

【土間コンクリート考慮基礎の場合】



■寸法表

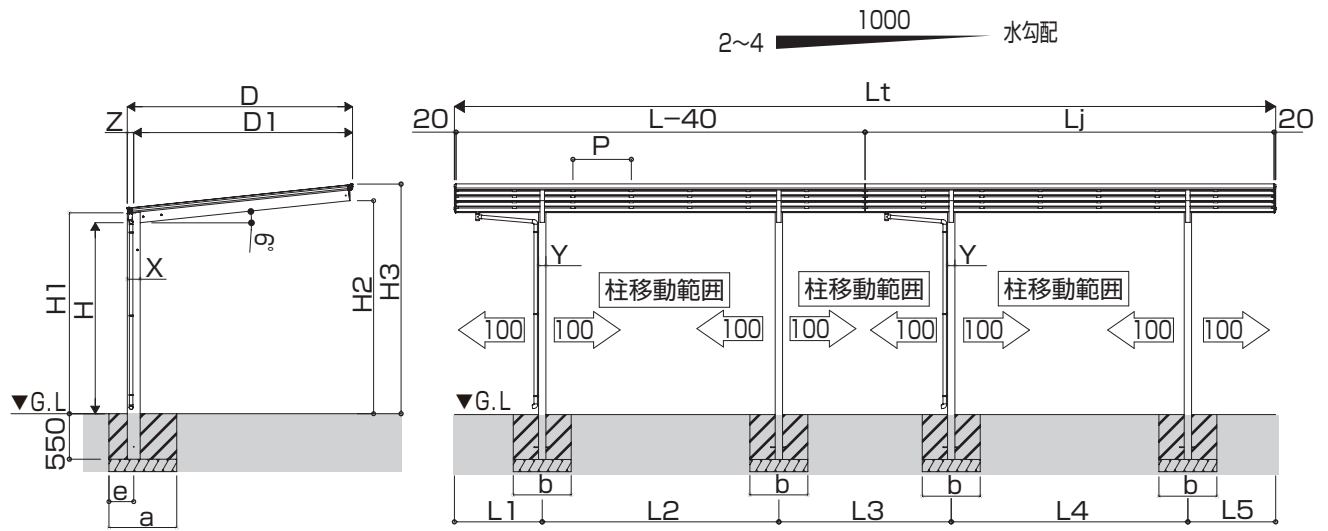
間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	D	D1	Lt	L	Lj	L1	L2	L3	L4	H*	H1*	H2*	H3*	X	Y	Z				
24	51+14	22 25※ 28※	2422	2344	6484	5052	1432	1076	2900	1772	736	2200	2320	2435	2635	156	90	78				
	7200				5768	1234		3300	1930													
27	51+14		2724	2646	6484	5052		1076	2900	1772												
	57+14		2635	7200	5768	1234		3300	1930	2466				2667								
30	51+14		3026	2938	6484	5052		1076	2900	1772				2318	2496				2698	178	110	89
	7200				5768	1234		3300	1930													

※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称25の場合300、28の場合600足してください。

■基礎寸法表

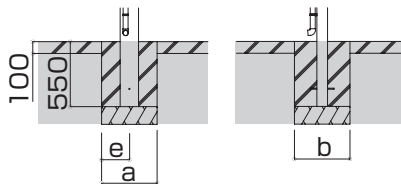
間口呼称	奥行呼称	独立基礎						土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)								
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )						地耐力(kN/m <sup>2</sup> )								
		30		50		100		30		50		100				
a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e			
24	51+14	1100	300	300	1000	300	800	300	550	275	500	250	500	250		
	57+14														1050	900
27	51+14	1150			1100		950		650	325	550	275	600	300	550	275
	57+14															
30	51+14	1250			1150		1000		700	350	650	325	650	325	550	275
	57+14															

奥行連結セット



図は、独立基礎の場合を示します。

【土間コンクリート考慮基礎の場合】



■寸法表

間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	D	D1	Lt	L	Lj	L1	L2	L3	L4	L5	H※	H1※	H2※	H3※	X	Y	Z
24	51+51	22 25※ 28※	2422	2344	10064	5052	5012	1076	2900	2112	2900	1076	2200	2320	2435	2635	156	90	78
	11496				5768	5728	1234	3300	2428	3300	1234	2466			2667				
27	51+51		2724	2646	10064	5052	5012	1076	2900	2112	2900	1076		2318	2464	2666	178	110	89
	57+57		2635	11496	5768	5728	1234	3300	2428	3300	1234	2496			2698				
30	51+51	3026	2938	10064	5052	5012	1076	2900	2112	2900	1076	2200	2318	2464	2666	178	110	89	
	57+57			2635	11496	5768	5728	1234	3300	2428	3300			1234	2496				2698

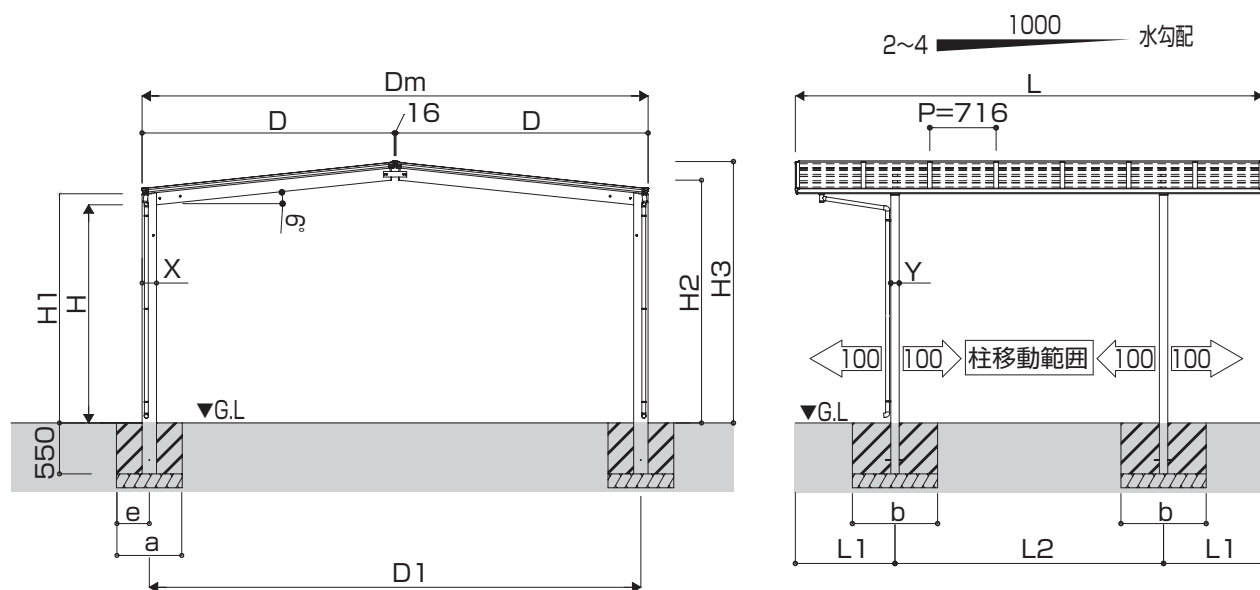
※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称25の場合300、28の場合600足してください。

■基礎寸法表

間口呼称	奥行呼称	独立基礎						土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)					
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )											
		30		50		100		30		50		100	
		a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e
24	51+51	1100	300	1000	300	800	300	550	275	500	250	500	250
	57+57	1150		1050		900		600	300				
27	51+51	1200	300	1100	300	950	300	650	325	550	275	550	275
	57+57			1200		1150							
30	51+51	1300	300	1250	300	1050	300	700	350	650	325	650	325
	57+57												

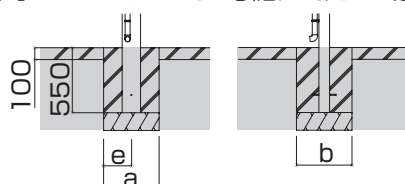


# M合掌セット



図は、独立基礎の場合を示します。

## 【土間コンクリート考慮基礎の場合】



## ■寸法表

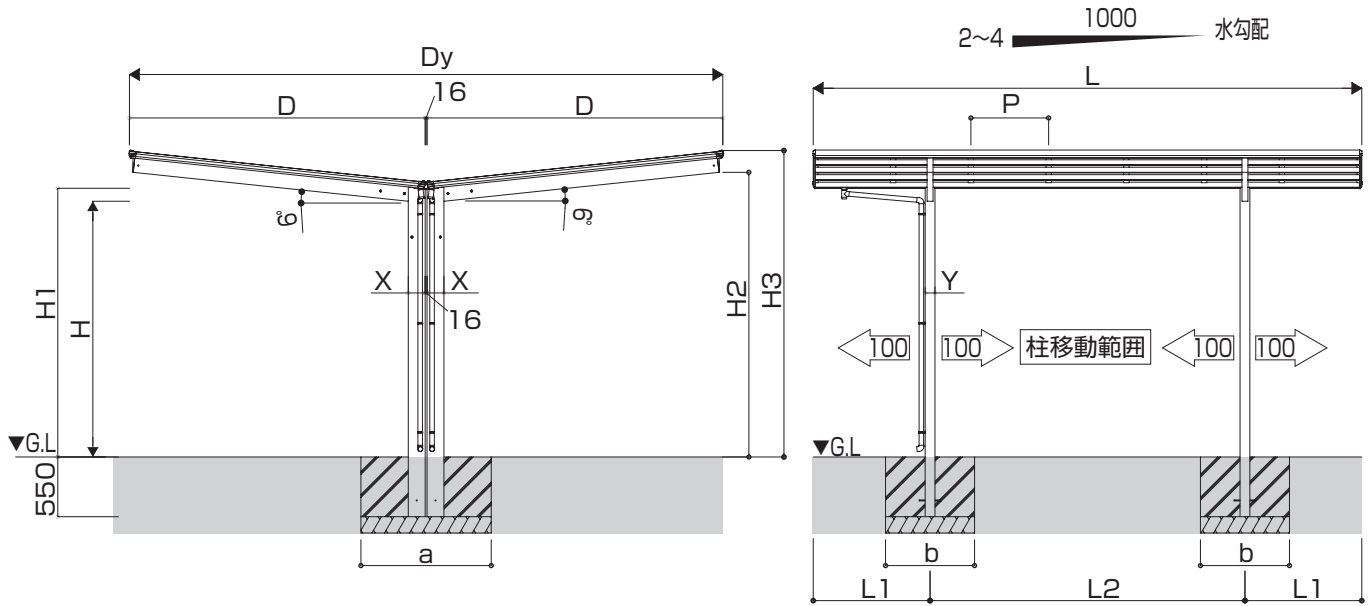
間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	Dm	D	D1	L	L1	L2	H※	H1※	H2※	H3※	X	Y
24+24	51	22 25※ 28※	4860	2422	4703	5052	1076	2900	2200	2320	2435	2643	156	90
	5768					1234	3300							
27+27	51		5464	2724	5308	5052	1076	2900		2318	2466	2675		
	57		5286	5768	1234	3300	2464	2673						
30+30	51		6068	3026	5891	5052	1076	2900		2318	2496	2705	178	110
	57		5768	1234	3300									

※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称25の場合300、28の場合600足してください。

## ■基礎寸法表

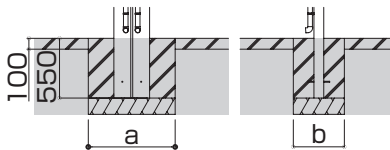
間口呼称	奥行呼称	独立基礎						土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)										
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )						地耐力(kN/m <sup>2</sup> )										
		30		50		100		30		50		100						
a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e							
24+24	51	1100	300	300	300	300	1000	800	550	275	500	250	500	250				
	57						1050											
27+27	51	1150					1100	900	600	300	550	275	600	300	550	275	550	275
	57						1200											
30+30	51	1250					1150	1000	650	325	600	300	650	325	600	300	550	275
	57						1300											

## Y合掌セット



図は、独立基礎の場合を示します。

### 【土間コンクリート考慮基礎の場合】



### ■寸法表

間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	Dy	D	L	L1	L2	H※	H1※	H2※	H3※	X	Y
24+24	51	22 25※ 28※	4860	2422	5052	1076	2900	2200	2320	2435	2635	156	90
	57				5768	1234	3300			2466	2667		
27+27	51		5464	2724	5052	1076	2900		2318	2464	2666	178	110
	57		5768	1234	3300	2496	2698						
30+30	51		6068	3026	5052	1076	2900		2318	2496	2698	178	110
	57		5768	1234	3300	2496	2698						

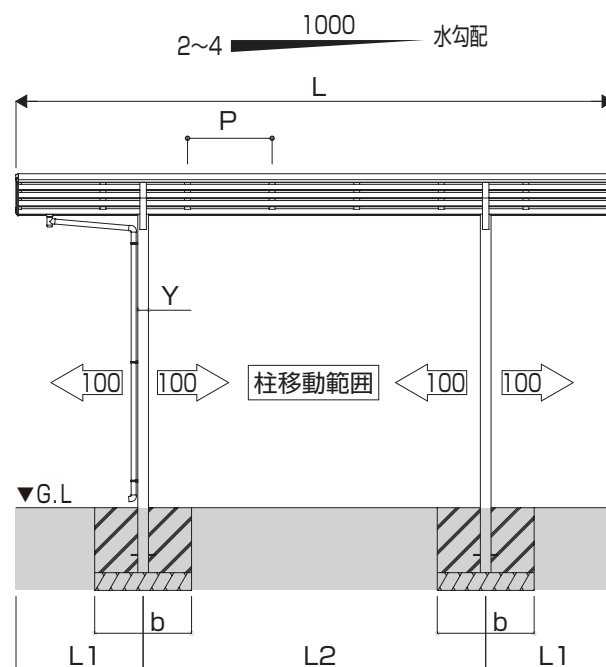
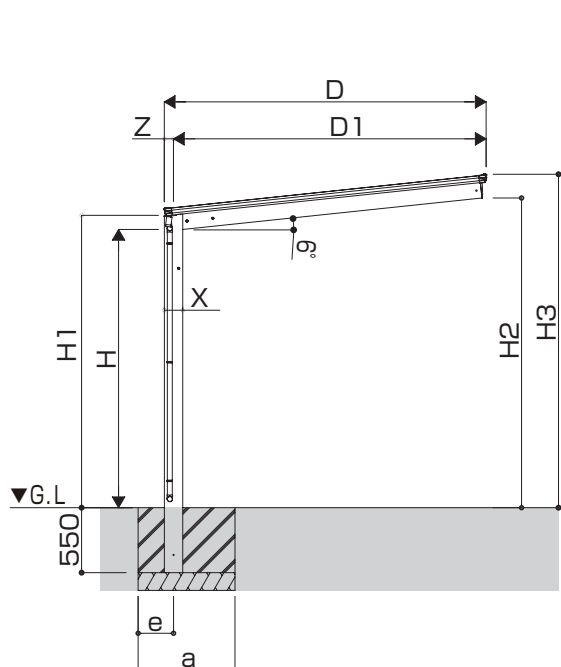
※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称 25 の場合 300、28 の場合 600 足してください。

### ■基礎寸法表

間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)		
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )		
		30	50	100	30	50	100
24+24	51	1250	1150	950	650	650	650
	57	1300	1250	1050	700		
27+27	51	1350	1350	1150	750	750	750
	57	1400					
30+30	51	1450	1450	1250	850	850	850
	57	1500					

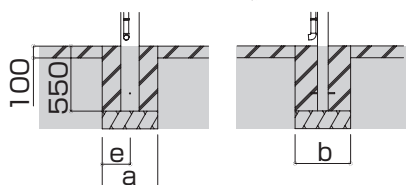
# エフルージュ FIRST Z 750 タイプ

## 単体セット



図は、独立基礎の場合を示します。

### 【土間コンクリート考慮基礎の場合】



### ■寸法表

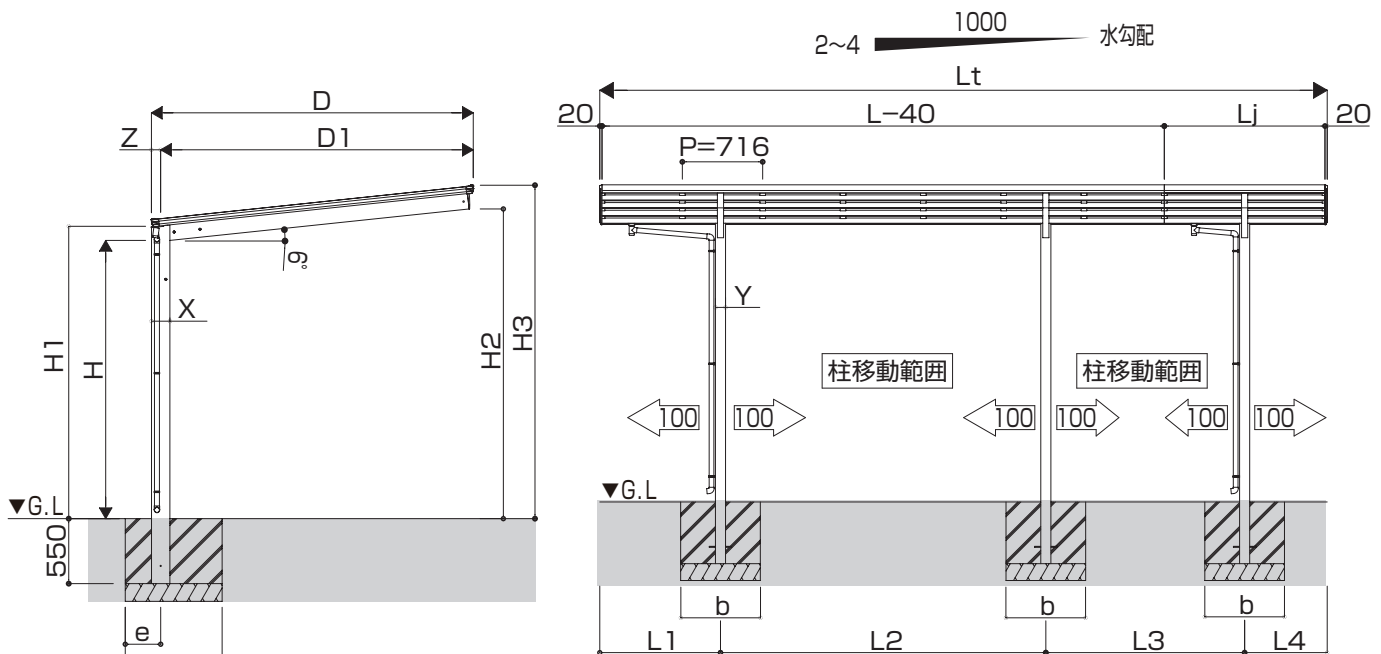
間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	D	D1	L	L1	L2	P	H※	H1※	H2※	H3※	X	Y	Z
24	51	22 25※ 28※	2422	2344	5052	1076	2900	716	2200	2320	2435	2635	156	90	78
	54				5400	1150	3100	670							
	57				5768	1234	3300	716							
27	51		2646	5052	1076	2900	716	2318		2464	2666	178	110	89	
	54		2635	5400	1150	3100	670								
	57		5768	1234	3300	716									
30	51		3026	2938	5052	1076	2900	716		2318	2496	2698	178	110	89
	54				5400	1150	3100	670							
	57				5768	1234	3300	716							

※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称 25 の場合 300、28 の場合 600 足してください。

### ■基礎寸法表

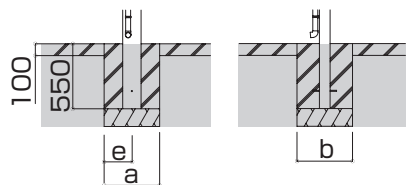
間口呼称	奥行呼称	独立基礎						土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)						
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )												
		30		50		100		30		50		100		
a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e			
24	51	1200	300	1100	300	300	300	650	325	550	275	500	250	
	54			1150						950	600			300
	57			1250						1000	650			325
27	51	1300	300	1200	300	300	300	700	350	650	325	550	275	
	54			1250						1050	650			325
	57			1350						1100	700			350
30	51	1400	300	1300	300	300	300	750	375	700	350	600	300	
	54			1350						1150	750			375
	57			1450						1200	800			400

奥行延長セット



図は、独立基礎の場合を示します。

【土間コンクリート考慮基礎の場合】



■寸法表

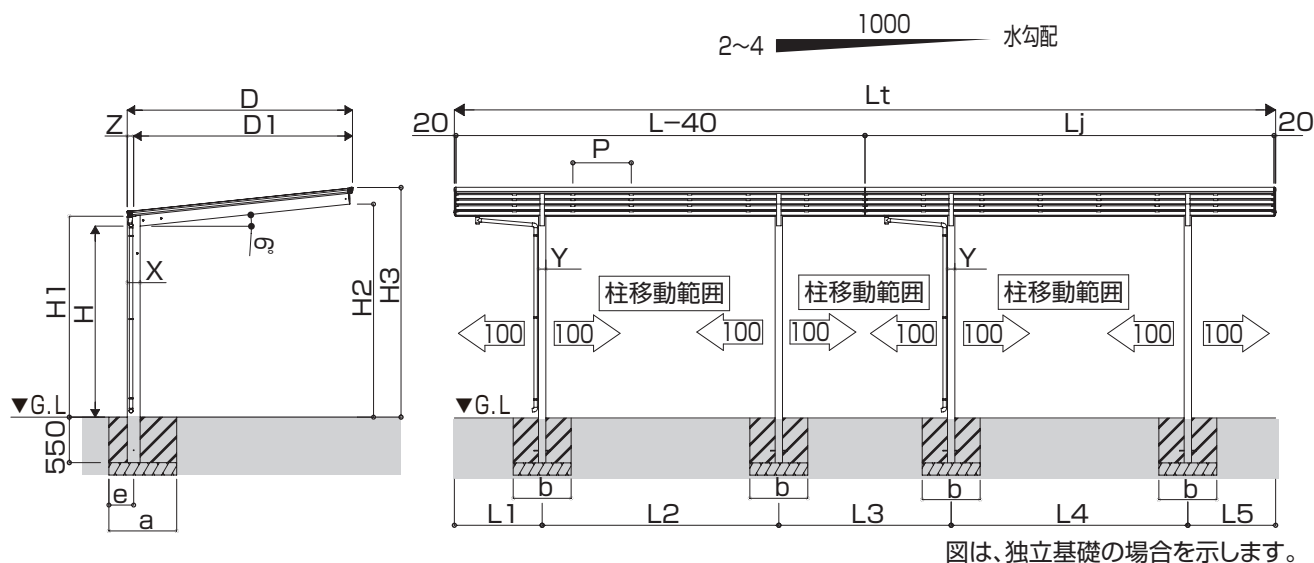
間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	D	D1	Lt	L	Lj	L1	L2	L3	L4	H※	H1※	H2※	H3※	X	Y	Z
24	51+14	22 25※ 28※	2422	2344	6484	5052	1432	1076	2900	1772	736	2200	2320	2435	2635	156	90	78
	7200				5768	1234		3300	1930									
27	51+14		2724	2646	6484	5052		1076	2900	1772				2466	2667			
	57+14		2635	7200	5768	1234		3300	1930	2464								
30	51+14	3026	2938	6484	5052	1076	2900	1772	2496		2698	178	110	89				
	57+14			7200	5768	1234	3300	1930										

※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称25の場合300、28の場合600足してください。

■基礎寸法表

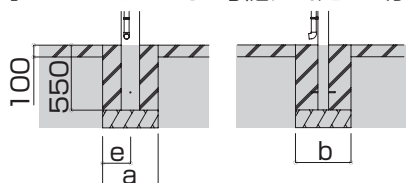
間口呼称	奥行呼称	独立基礎						土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)					
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )						地耐力(kN/m <sup>2</sup> )					
		30		50		100		30		50		100	
a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e		
24	51+14	1200	300	1100	300	950	300	650	325	550	275	500	250
	57+14	1250		1150		1000		700	350	600	300		
27	51+14	1300		1200		1050		700	350	600	300	550	275
	57+14	1350		1250		1100		750	375	650	325		
30	51+14	1300	1150	750	375	650	325	600	300				
	57+14	1450	1350	1200	800	400	750			375	600	300	

奥行連結セット



図は、独立基礎の場合を示します。

【土間コンクリート考慮基礎の場合】



■寸法表

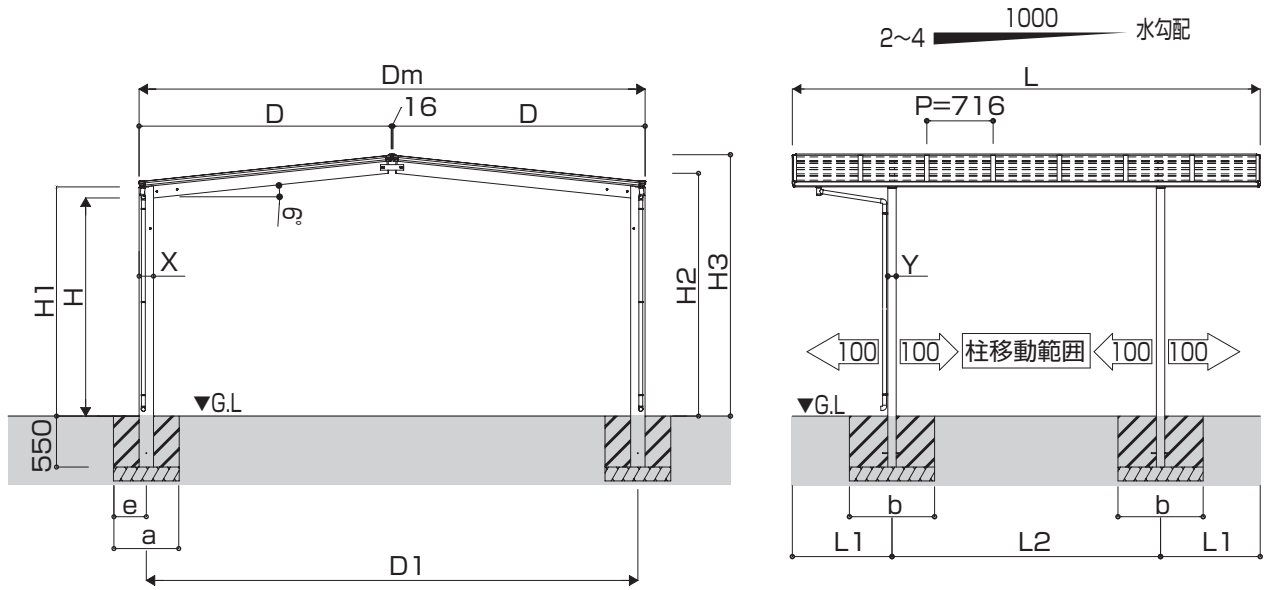
間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	D	D1	Lt	L	Lj	L1	L2	L3	L4	L5	P	H※	H1※	H2※	H3※	X	Y	Z
24	51+51	22	2422	2344	10064	5052	5012	1076	2900	2112	2900	1076	716	2200	2320	2435	2635	156	90	78
	54+54				10760	5400	5360	1150	3100	2260	3100	1150	670							
	57+57				11496	5768	5728	1234	3300	2428	3300	1234	716							
27	51+51	25※ 28※	2724	2635	10064	5052	5012	1076	2900	2112	2900	1076	716	2200	2318	2466	2667	178	110	89
	54+54				10760	5400	5360	1150	3100	2260	3100	1150	670							
	57+57				11496	5768	5728	1234	3300	2428	3300	1234	716							
30	51+51	25※ 28※	3026	2938	10064	5052	5012	1076	2900	2112	2900	1076	716	2200	2318	2496	2698	178	110	89
	54+54				10760	5400	5360	1150	3100	2260	3100	1150	670							
	57+57				11496	5768	5728	1234	3300	2428	3300	1234	716							

※ : H、H1、H2、H3は、高さ呼称 25 の場合 300、28 の場合 600 足してください。

■基礎寸法表

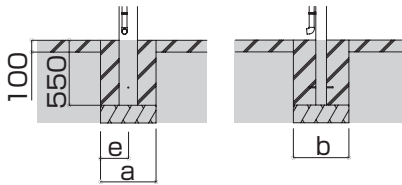
間口呼称	奥行呼称	独立基礎						土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)						
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )						地耐力(kN/m <sup>2</sup> )						
		30		50		100		30		50		100		
a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e			
24	51+51	1200	300	1100	300	950	300	650	325	550	275	500	250	
	54+54			1150		1000				600				300
	57+57			1250		1050				700				350
27	51+51	1300	300	1200	300	1050	300	750	375	650	325	550	275	
	54+54			1250		1100				700				350
	57+57			1350		1150				750				375
30	51+51	1400	300	1300	300	1150	300	800	400	700	350	600	300	
	54+54			1350		1200				750				375
	57+57			1450		1250				800				400

# M合掌セット



図は、独立基礎の場合を示します。

## 【土間コンクリート考慮基礎の場合】



## ■寸法表

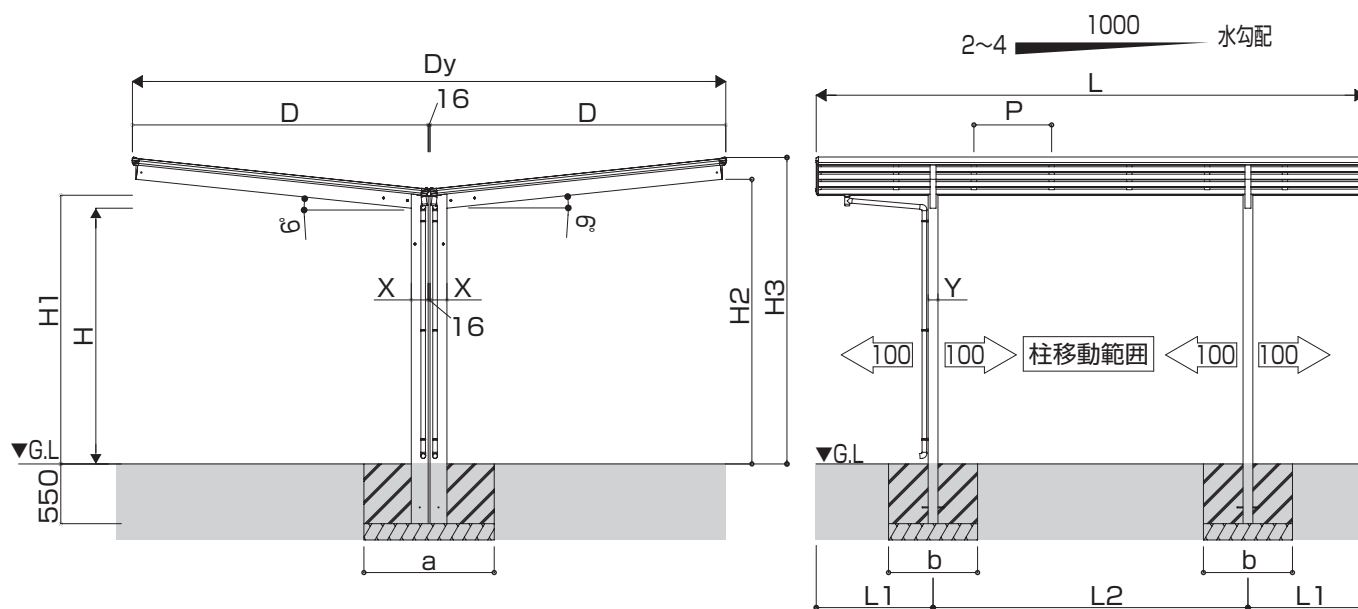
間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	Dm	D	D1	L	L1	L2	P	H※	H1※	H2※	H3※	X	Y
24+24	51	22 25※ 28※	4860	2422	4704	5052	1076	2900	716	2200	2320	2435	2643	156	90
	54					5400	1150	3100	670						
	57					5768	1234	3300	716						
27+27	51		5308	1076	2900	716	2318	2466	2675		178	110			
	54		5400	1150	3100	670									
	57		5768	1234	3300	716									
30+30	51	6068	3026	5891	5052	1076	2900	716	2496	2705	178	110			
	54	5400	1150	3100	670										
	57	5768	1234	3300	716										

※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称25の場合300、28の場合600足してください。

## ■基礎寸法表

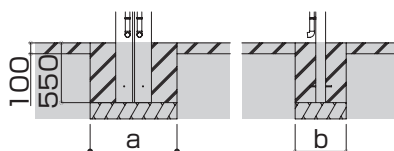
間口呼称	奥行呼称	独立基礎						土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)												
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )						地耐力(kN/m <sup>2</sup> )												
		30		50		100		30		50		100								
a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e									
24+24	51	1200	300	1100	300	950	300	650	325	550	275	500	250							
	54													1150	1000	600	300			
	57													1250	1050	1100	650	325	550	275
27+27	51	1300	300	1200	300	1050	300	700	350	650	325	550	275							
	54													1250	1100	750	375	650	325	
	57													1350	1300	1150	800	400	700	350
30+30	51	1400	300	1300	300	1150	300	750	375	700	350	600	300							
	54													1450	1350	1200	800	400	750	375
	57													1450	1350	1200	800	400	750	375

## Y合掌セット



図は、独立基礎の場合を示します。

### 【土間コンクリート考慮基礎の場合】



### ■寸法表

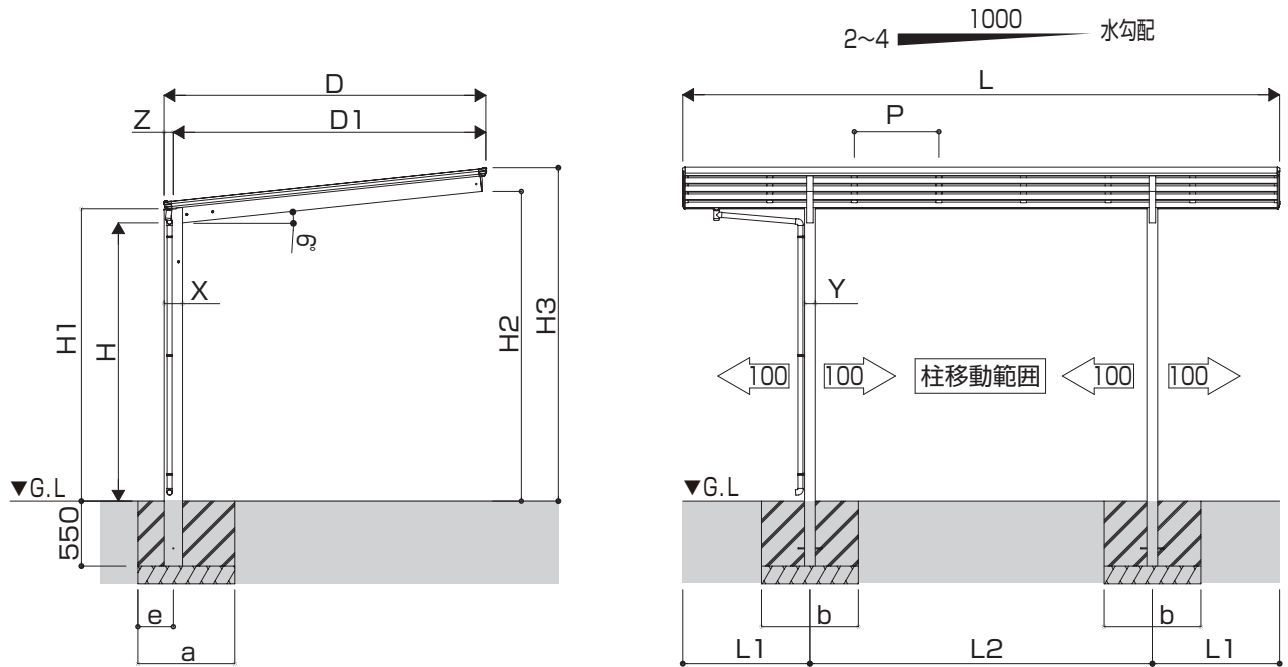
間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	Dy	D	L	L1	L2	P	H※	H1※	H2※	H3※	X	Y		
24+24	51	22 25※ 28※	4860	2422	5052	1076	2900	716	2200	2320	2435	2635	156	90		
	54				5400	1150	3100	670								
	57				5768	1234	3300	716								
51	5052				1076	2900	716	2318							2466	2667
54	5400				1150	3100	670									
57	5768				1234	3300	716									
30+30	51	22 25※ 28※	6068	3026	5052	1076	2900	716	2200	2318	2464	2666	178	110		
	54				5400	1150	3100	670								
	57				5768	1234	3300	716								

※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称25の場合300、28の場合600足してください。

### ■基礎寸法表

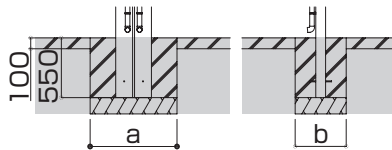
間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)		
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )		
		30	50	100	30	50	100
24+24	51	1400	1300	1100	750	700	650
	54		1350	1150	800		
	57		1400	1200	750		
27+27	51	1500	1400	1250	850	750	
	54		1450	1300	800		
	57		1500	1350	850		
30+30	51	1600	1500	1400	900	800	
	54		1650	1450	950		
	57		1700	1500	900		

## ハイデザイン 単体セット



図は、独立基礎の場合を示します。

### 【土間コンクリート考慮基礎の場合】



### ■寸法表

間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	D	D1	L	L1	L2	P	H	H1※	H2※	H3※	X	Y	Z
24	51	22 25※ 28※	2422	2344	5112	1106	2900	716	2200	2320	2435	2635	156	90	78
	54				5460	1180	3100	670							
	57				5828	1264	3300	716							
27	51		2646	5112	1106	2900	716	2318		2466	2667	178	110	89	
	54		2724	5460	1180	3100	670								
	57		2635	5828	1264	3300	716								
30	51	3026	2938	5112	1106	2900	716	2496	2698	178	110	89			
	54	5460	1180	3100	670										
	57	5820	1264	3300	716										

※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称25の場合300、28の場合600足してください。

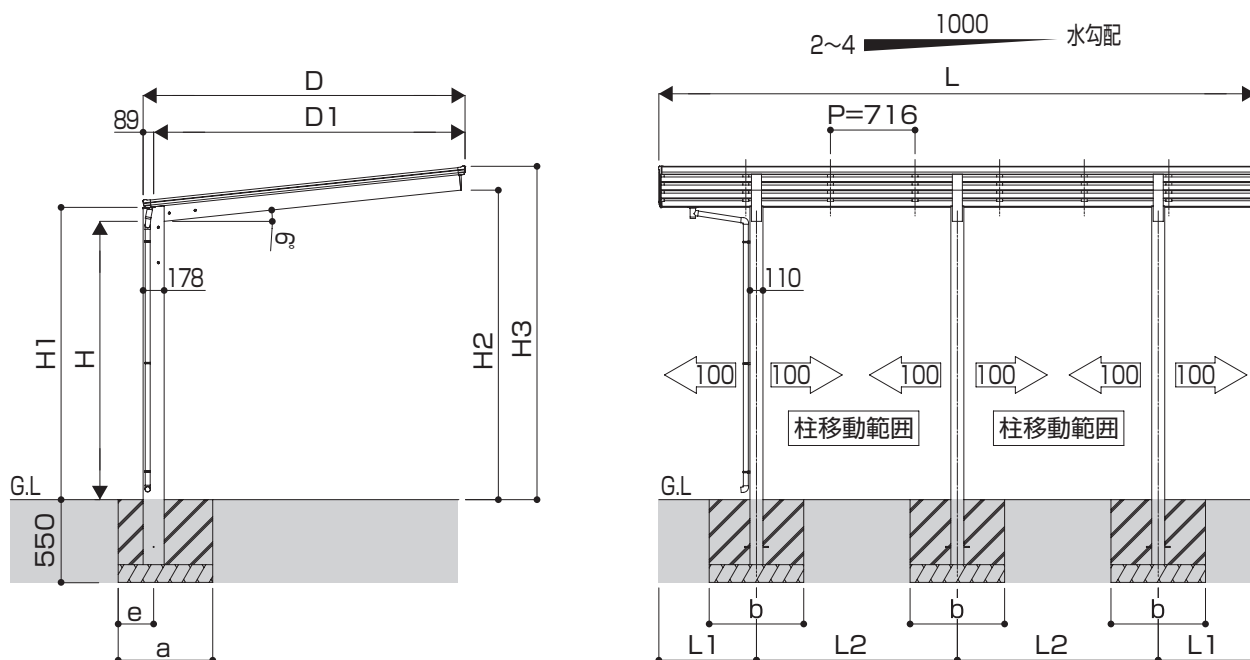
### ■基礎寸法表

間口呼称	奥行呼称	独立基礎						土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)										
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )						地耐力(kN/m <sup>2</sup> )										
		30		50		100		30		50		100						
a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e							
24	51	1200	300	1150	300	950	300	650	325	550	275	500	250					
	54	1250												1000	700	350	600	300
	57	1300												1050	750	375	650	325
27	51	1300	300	1250	300	1100	300	750	375	650	325	550	275					
	54	1350												1150	800	400	700	350
	57	1400												1200	850	425	750	375
30	51	1400	300	1350	300	1250	300	850	425	750	375	600	300					
	54	1450												1250	900	450	800	400
	57	1500												1300	950	475	850	425



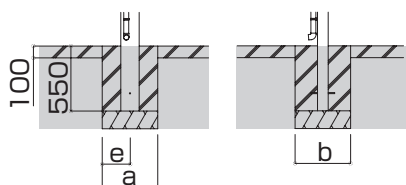
# エフルージュ FIRST 1500 タイプ 1 台用

## 単体セット



図は、独立基礎の場合を示します。

### 【土間コンクリート考慮基礎の場合】



### ■寸法表

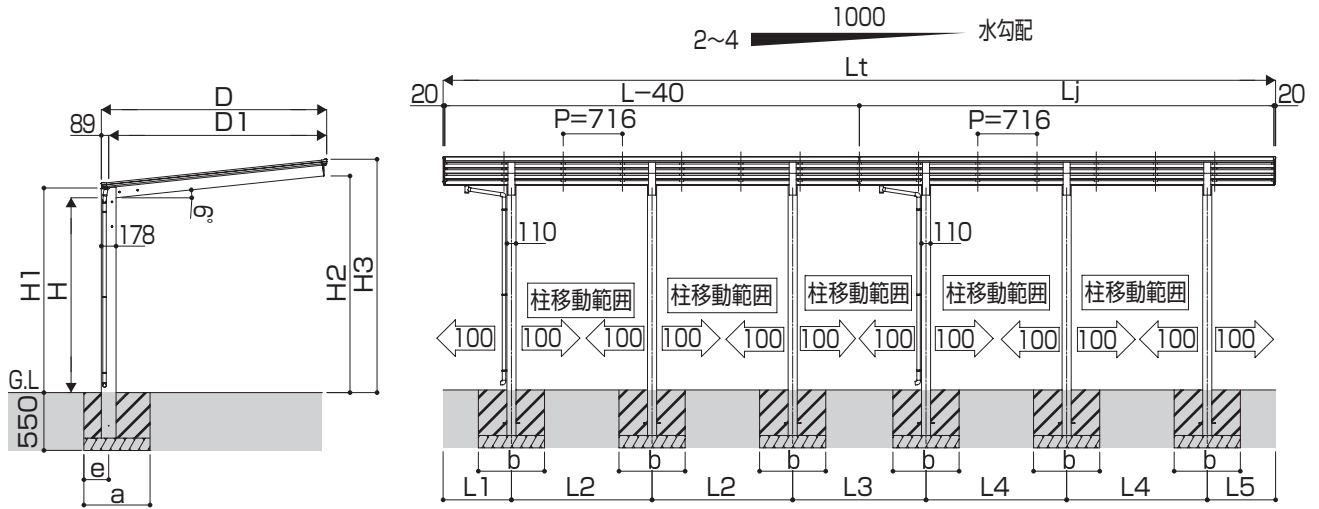
間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	D	D1	L	L1	L2	H※	H1※	H2※	H3※
24	51	22 25※ 28※	2422	2333	5052	826	1700	2200	2318	2432	2634
	57				5768	884	2000				
27	51		2724	2635	5052	826	1700				
	57		5768	884	2000						
30	51	3026	2938	5052	826	1700	2496	2698			

※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称 25 の場合 300、28 の場合 600 足してください。

### ■基礎寸法表

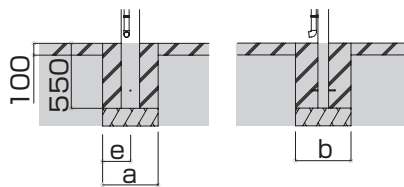
間口呼称	奥行呼称	独立基礎						土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)					
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )						地耐力(kN/m <sup>2</sup> )					
		30		50		100		30		50		100	
a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e		
24	51	1000	300	950	300	750	300	550	275	550	275	550	275
	57	1100		800		600		300					
27	51	1100		1000		850		600	300				
	57	1150		900		650		325					
30	51	1200	1100	950	650	325							

奥行連結セット



図は、独立基礎の場合を示します。

【土間コンクリート考慮基礎の場合】



■寸法表

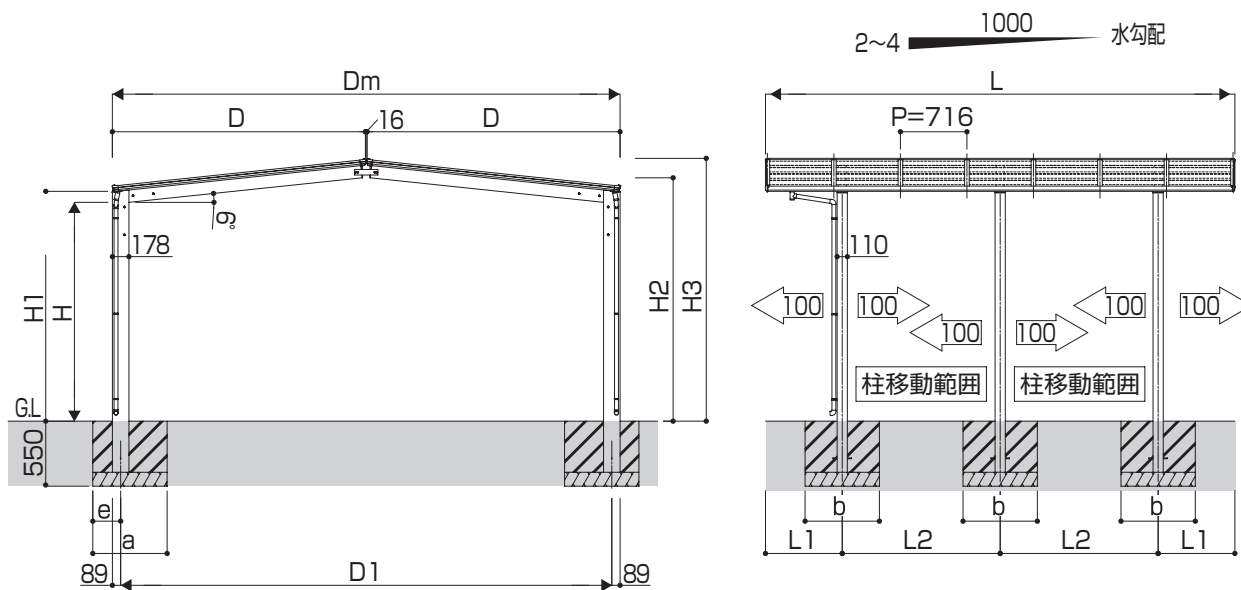
間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	D	D1	Lt	L	Lj	L1	L2	L3	L4	L5	H※	H1※	H2※	H3※
24	51+51	22	2422	2333	10064	5052	5012	826	1700	1612	1700	826	2200	2318	2432	2634
	11496				5768	5728	884	2000	1728	2000	884					
27	51+51	25※	2724	2635	10064	5052	5012	826	1700	1612	1700	826	2200	2318	2464	2666
	57+57	28※			11496	5768	5728	884	2000	1728	2000	884				
30	51+51		3026	2938	10064	5052	5012	826	1700	1612	1700	826			2496	2698

※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称25の場合300、28の場合600足してください。

■基礎寸法表

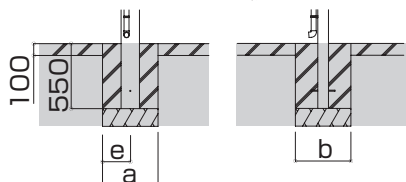
間口呼称	奥行呼称	独立基礎						土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)					
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )						地耐力(kN/m <sup>2</sup> )					
		30		50		100		30		50		100	
a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e
24	51+51	1000	300	950	300	750	300	550	275	550	275	550	275
	57+57	1100		800		600		300					
27	51+51	1150	300	1000	300	850	300	650	325	550	275	550	275
	57+57			900									
30	51+51	1200		1100		950							

# M合掌セット



図は、独立基礎の場合を示します。

## 【土間コンクリート考慮基礎の場合】



## ■寸法表

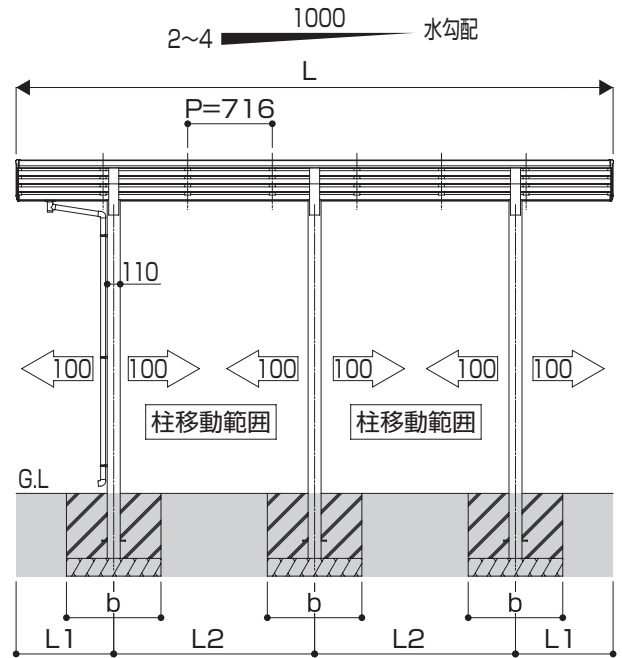
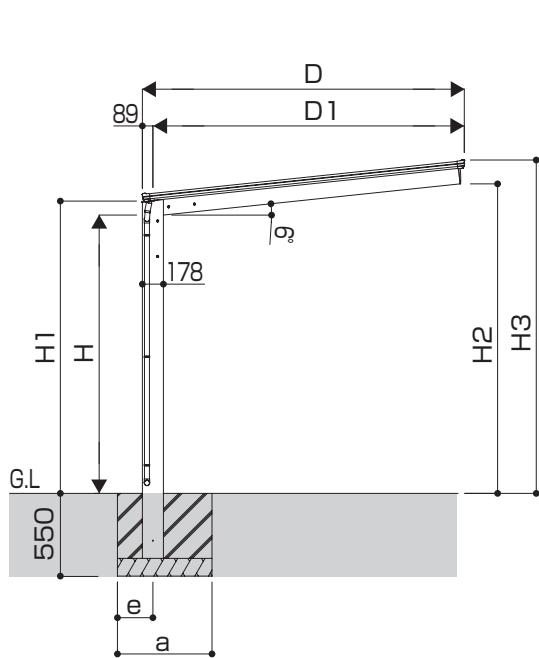
間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	Dm	D	D1	L	L1	L2	H※	H1※	H2※	H3※
24+24	51	22	4860	2422	4682	5052	826	1700	2200	2318	2432	2642
	57					5768	884	2000				
27+27	51	25※	5464	2724	5286	5052	826	1700	2200	2318	2464	2673
	57	28※				5768	884	2000				
30+30	51		6068	3026	5891	5052	826	1700			2496	2705

※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称 25 の場合 300、28 の場合 600 足してください。

## ■基礎寸法表

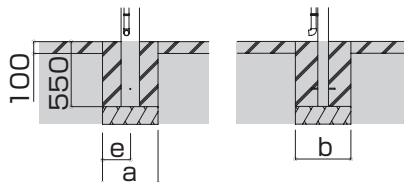
間口呼称	奥行呼称	独立基礎						土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)					
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )						地耐力(kN/m <sup>2</sup> )					
		30		50		100		30		50		100	
a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e
24+24	51	1000	300	950	300	750	300	550	275	550	275	550	275
	57	1100		1000		800		600	300				
27+27	51	1100	300	1000	300	850	300	600	300	550	275	550	275
	57	1150		1100		900							
30+30	51	1200				950		650	325				

# ハイデザイン 単体セット



図は、独立基礎の場合を示します。

## 【土間コンクリート考慮基礎の場合】



## ■寸法表

間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	D	D1	L	L1	L2	H※	H1※	H2※	H3※
24	51	22 25※ 28※	2422	2333	5112	856	1700	2200	2318	2432	2634
	57				5828	914	2000				
27	51		2724	2635	5112	856	1700				
	57		5828	914	2000						
30	51	3026	2938	5112	856	1700	2496	2698			

※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称25の場合300、28の場合600足してください。

## ■基礎寸法表

間口呼称	奥行呼称	独立基礎						土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)						
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )												
		30		50		100		30		50		100		
a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e	a・b	e			
24	51	1000	300	950	300	750	300	550	275	550	275	550	275	
	57	1100		800		600		300						
27	51	1150		1000		850		900	650					325
	57	1200		1100		950								

